

2015年 町勢要覧
MOTOBU
本部町
 沖縄県



太陽と海と緑-観光文化のまち
沖縄県本部町



太陽と海と緑-観光文化のまち
沖縄県本部町
 2015 町勢要覧



2015年度は「食文化」をテーマに、
 10月27日(土)に開催いたします。

日本一早い
桜まつり

夕陽の
美しいまち

年間平均気温
23.5℃の
温暖な気候

豊かな自然が
溢れるまち

フクギの里

沖縄そばの
まち

世界に誇れる
水族館

アセローラの
まち

年間
約400万人の
観光客

太陽と海と緑― 観光文化のまち 本部町

沖縄本島の北西部に位置する本部町は、西に東シナ海を望み、東に雄大な自然の営みを感じさせるカルスト地形や八重岳と、美しい景観や恵まれた自然環境に育まれ、時代の移り変わりとともに変遷を重ねながら、多くの先人たちの努力により発展してまいりました。本部町には、年間400万人以上の観光客が訪れます。初夏を告げるカツオや、真夏の太陽を連想させる真っ赤なアセローラ、シークワイサー、カーブチーなど、一年を通して旬の特産品が溢れ、海洋博公園の沖縄美ら海水族館に代表される観光施設や、備瀬のフクギ並木など、見所も枚挙につきません。

一方、本部町は少子高齢化や過疎化をはじめ、全国の町村地域と同様の現状と課題を抱えております。その課題の克服に向け、多様化する地域のニーズをくみ取りながら、歴史と伝統を継承しつつ、新しい時代に向けた明確なビジョンを持ったまちづくりを進めてまいります。

この町勢要覧では、本部町の地勢や文化、特産品などの情報をほんの一部紹介しております。この冊子をご覧いただき、本部町をご理解していただければ幸いです。ご理解していただき、その良さをお確かめください。町民一同心よりお待ちしております。

本部町長 高良 文雄

本部町って どんな町

O K I N A W A / M O T O B U

本部町 イラスト MAP



TERRA MARITIMA
TROPICAL BEACH



本部半島地図





01 太陽と海と緑 観光文化のまち



町民一人ひとりの笑顔が
わがまちの太陽

太陽と海と緑とは？ ～観光文化のまち～

亜熱帯のあふれる太陽のもとに築き上げられた、町民一人ひとりが身近に実感する住みよいまちのイメージ。海、山の自然の恵みと固有の文化に根ざしつつ、自然の摂理はもとより、人間性を大切にする姿勢を基調とした観光文化のまちの実現を目指しています。

本町は、町民一人ひとりの笑顔がまちを明るく元気にする太陽です。豊かな恵みをもたらす海や、緑深い山々に抱かれ、多くの先人たちが残してきた英知や、町民の活力を原動力として発展してきました。これからも、子どもからお年寄りまで、すべての町民がより快適で安らぎをもって暮らすことができる日本一元気なまちの実現に向け、日々取り組みんでいます。

神縄本島北西、本部半島の西部に位置する本部町は、美しい山並みや海岸線を擁し、季節や時間の移り変わりで見せる様々な自然の表情は人々を魅了します。西の海上に沈みゆく夕陽は特に美しく、町民が誇る風景の一つです。



もとぶ手作り市



みんなが
笑顔で暮らせる
明るく元気なまち！



02 海の恵みに育まれ、海と共に発展するまち



海洋博公園



沖縄美ら海水族館



本部町は海のまち



沖縄国際海洋博覧会開幕
(1975年)

海洋資源を
さまざまに利用



カツオの水揚げ



カツオの1本釣り



カツオのぼり



水納島



ハーリー

本部町には、15の行政区があります。そのほとんどが海浜に面しており、住民の生活も、昔から海との関わりが大変深く、海からもたらされる多くの恵みを受けながら発展してきました。

八重岳、本部富士などの比較的高い丘陵が海浜まで裾野を広げ、近隣市町村との境を分けており、海岸線は複雑です。本部町には、自然の河口を利用した渡久地港や、伊江島や本土と航路を結ぶ本部港をはじめ、全部で7つの港があります。本部港は、昭和50年、沖縄国際海洋博覧会開催の折、大型旅客船が接岸できる港湾として整備されました。渡久地港は古くから交易港として多くの人が行き来する港で、明治30年代後半から始まったカツオ漁や、人々が集う地勢によって、本部の食文化を育んできました。

現在でも、ダイビングやホエールウォッチングなどのマリレジャー、物流や漁業の場として、本部町の重要な資源として大切に守られています。

海

四季折々の彩りが山を豊かに潤す



渡久地からの一瞥



琉球果樹園の工具



パイン



円錐カルスト

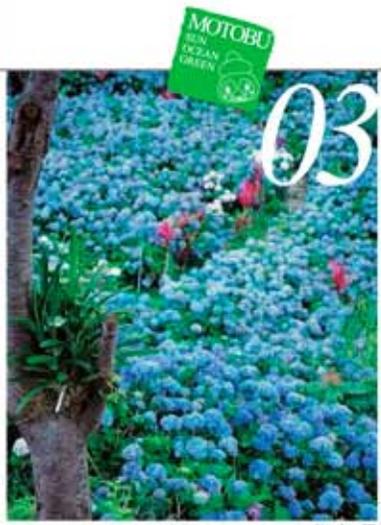
本部町では、フクギ並木で有名な備瀬を筆頭に、現在でも多くの地域でフクギを観ることが出来ます。平成27年2月9日には、フクギが息つき、共に暮らす町として「フクギの里宣言」を行いました。台風などの自然災害から人々の生活を守るフクギを、先人たちの残してくれた大きな財産として、保全、再生に取り組んでいます。また、豊かな土地は常に人々の生活を支えてきました。変化に富んだ地形を生かし、花卉、かんきつ類などの果樹、野菜などを栽培。特に、かつては県内有数のパインの産地であった伊豆味地域は、タンカンをはじめとするかんきつ類の一大産地となっています。さらにアセローラや梨、キャベツなど、多彩な農産物が産出されることも本部町の特徴のひとつです。

本部町には、ここで見ることのできない景観や、本部町ならではの自然の恵みにあふれています。八重岳周辺では約7千本の寒緋桜が1月中ごろから開花を迎え、浴道を桜色に染めます。町内には、国内唯一の円錐カルスト地形もあります。カルストとは、雨水や地下水により石灰岩が溶かされてできる地形のことです。山里地域一帯には、国内でも珍しい円錐形の山々が連なるカルスト地形が広がり、見る人を圧倒します。



「フクギの里宣言」の様子

八重岳の桜



03

雄大な景色と自然の恵み、
緑豊かな本部の魅力



あじさい園



藍染め



アセローラ



シークワーサー



備瀬のフクギ並木



ジューフニ毛

八重岳の桜まつりは
とてもきれいで
ぜひ遊びに来てね



八重岳野獣病院跡

誇りある歴史と文化を
未来へ受け継ぐ

豊年祭

豊年祭は五穀豊穡を神に感謝するお祭りであり、本部町内でも瀬部区、崎本部区、渡久地区、伊豆味区、備瀬区で行われている。渡久地区では7年マール(6年に1度)で、豊年祭と大綱引きを交互に実施しており、大綱引きでは東西に分かれて大綱を引き合い、勝敗の結果で農作物の豊凶を占う。綱引きの前には東西両陣営からそれぞれ若者が牛若丸と弁童に扮し、大勢の人が支える戸板の上で戦う。



伊豆味のおやつり獅子

伊豆味の豊年祭



備瀬のシニグ



伊野波のムックジャ



瀬部のウフユミ・シヌグイ

守り伝えられる
シヌグ

沖縄県の本部半島の具志堅を始めとする地域では、旧7月16日～26日の3日～7日間に「シヌグ」といわれる村落祭祀が行われる。これは祖神アマミクの渡来と稲作の豊穡を祈る祭りである。由来は定かではないが、備瀬の集落全域が具志堅であり弥生時代から人が住んでいたとされることから、かなり古くからこうした行事が行われていたとされる。

具志堅のシニグ

健堅のシニグ



本部の伝統

文
歴
化
史

渡久地の豊年祭(大綱引き)



藍染め

琉球藍(苧藍)は単に藍(方言:イヤー)と言い、沖縄の代表的な染料で染織等の藍染めに欠くことのできない原材料製造技術である。国選定保存技術保持者である伊野波眞正氏の下に藍染の栽培から製造まで技の継承を図るために琉球藍製造技術保存会が結成され栽培、泥藍製造を行っている。



本部のシニグ



辺名地のシニグ



備瀬のシニグ



ミヤザキ
具志堅の神ハサーギ
(町指定有形民俗文化財)

祭りの際ここに守護神を招き、祭祀を行う。御殿や村の広場、元屋(むーとうや)の近くにあり、昔のままの石柱が低い茅葺きの床や壁がない小屋風の作りをしている。



ナカムラ 文書
仲村家文書 (県指定有形文化財/古文書)

辺名地の仲村家に伝わる、約400年前に首里王府から出された3通の辞令書。この辞令書から当時の役職、三交代、孫の制度などが明らかになった重要な史料。



本部町には、数多くの史跡や文化財が存在します。沖縄貝塚時代や琉球王朝時代、沖縄戦、そして本土復帰と、時代の大きな波を経て今もなお、今日まで脈々と守り伝えられてきました。本部町ではこれらの史跡・遺跡を大切に守り、後世に伝えるべきです。



シモジ ノメコ
瀬底祝女の簪
(町指定民俗文化財：昭和52年指定)

瀬底の祝女に首里王府から交付された簪。他にも勾玉が現存する。首里王府とのつながりを今に伝える貴重な文化財。

本部

貝塚、史跡



人々の暮らし

の

気品ある

文

豊かな自然

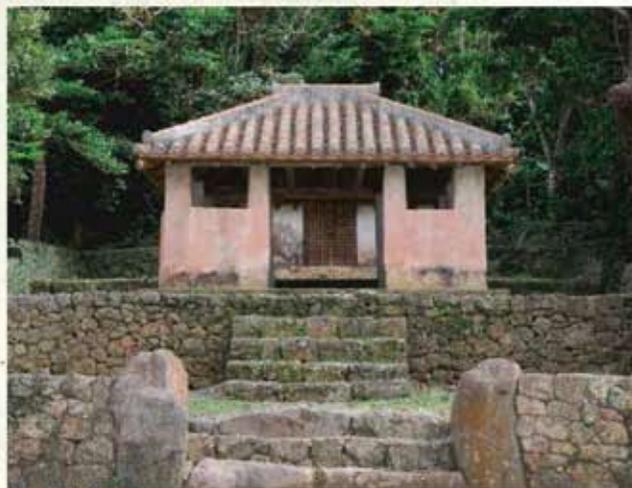
化

歴史的財産

財

町立博物館

文化と自然をテーマにし、貝塚から出土した遺物や町近海で採取された珊瑚や貝、民具による古民家の再現、町の森に生息する天然記念動植物の標本など町の貴重な文化財を多く展示している。



シモジ ノミコト
瀬底土帝君一郭 (国指定重要文化財/建造物)

土帝君は農業の神様のごことで、毎年旧暦2月2日に豊作祈願の祭祀を行う。上間家二世健堅親雲上(1705~1779)が清国から土帝君の本像を持ち帰り、瀬底に祀ったのが始まり。



ヤマグチ ノウチノクラ
山川垣内権現洞遺跡 (県指定史跡)

港原の小高い丘にあり、昔から山川集落の信仰の対象だった。沖縄貝塚時代後期~グスク時代の洞穴住居跡といわれ、シャコ貝製の網の鎌などが出土した。



ヒラタ ノサチビンノイバ
浜元サチビン貝塚 (県指定史跡)

西海岸に突出した琉球石灰岩の上および海岸下の傾斜面にある貝塚。沖縄貝塚時代前期~中期にかけての遺跡で、石斧や有文土器、無文土器などが出土した。北部の前期遺跡として貴重なもの。

浪漫ただよう歴史と文化、貴重な史跡の数々

民話コラム

本部町の民話 下巻・伝説編から

瀬底と伊江の水納島争い

伊江島と本部の南西方向の間に小さな島があります。それが水納島です。むかし、水納島が伊江島のものか本部のものかまだはっきりしていません。両方の人達が集まって水納島がどちらのものか争いました。

「この島は伊江島に近いから伊江島ものだ」「いや、本部に近いから本部のものだ」「いくら話し合っても決着がつかないので、「じゃあ競争で決めよう」ということになりました。

伊江島からサバニに乗り、また、本部からもサバニに乗って水納島までそれぞれ漕いでいって、先に着いたところのものにしよう、相談が決まりました。

そのころはまだ電話もありません。船の漕ぎ手が船に乗り、出発する時に

「用意、ドン」と、両方から松明で合図を送りました。

水納島に早く着いた方の勝ちですから、伊江島からも本部からも同時に海に出て、一生懸命漕いでいきました。そして、本部が勝ちました。

実は、最初の相談では、伊江島と本部からそれぞれ船を出すという話だけしかしてなかったのです。そこで本部の人は頭を働かせて、本部の渡久地からではなく、水納島に近い瀬底から出たのでした。瀬底島の裏側にきれいな浜があり、そこで水納島の間はわずかしかなかった。

伊江島の人達は、びっくり本部は渡久地港から出ると聞いていたために自分たちが勝つと考えていました。けれど本部が勝ったので、不意に思い、「どうしてこんなに速いのか。勝つをしたんじやないのか」と言い、またいさかいになりました。

本部の人達は「瀬底島の水納島が一番近い所から船を漕いだんだよ」と正直に話しました。伊江島の人達は悔しがりましたが、瀬底も本部のうちということに変わりはありません。伊江島は負けて、水納島は本部町のものになったそうです。



オオシラ ノイシ
大石原のアンモナイト化石 (県指定天然記念物)

海洋博記念公園内海岸の石灰岩とシルト岩の中に、古生代(約2億2千万年前)に生息していたイカやタコの仲間アンモナイトの化石がある。

キョウ ノカンシヨウカ
本部監視哨跡
(戦争遺跡)

谷茶東側高台に位置。監視哨は戦時中(昭和18年頃)、飛来する敵の飛行機をいち早く発見し、正確な情報を日本軍の作戦室に報告するための重要な見張り台だった。





町章

本部町の頭文字「本」を円案化し、「日本」を強調させ、円は平和と円満を表わし、両翼の羽根型は町の飛躍発展の姿を象徴する。
制定：昭和四十一年十二月十五日

本部町民憲章

わたくしたち本部町民は、ふるさとの美しい自然とそこに息づく歴史・文化に誇りを持ち、町民のたくましく生きる力と積極性を活かして活力ある町づくりに勤むとともに、新しい時代にひらける太陽と海と緑―観光文化の町づくりをめざし、ここに町民憲章を定めます。

わたくしたち本部町民は

- 一、ふるさとの美しい自然を愛し、みどりの町をつくりまします。
- 一、健康で働く喜びを大切にし、幸せな家庭を築きます。
- 一、きまわりを守り、互いに力を合わせて、明るい町をつくりまします。
- 一、思いやりの心でいたわり助けあって、暖かい町をつくりまします。
- 一、教育・文化を大切にし、教養を求め心豊かな人になります。

本部町のシンボル *Symbol*



フタオチョウ コノハチョウ リュウキュウコノハスズ カツオ 町の花 / ラン 町の木 / フクギ 町の花木 / サクラ



太陽と海と緑
観光文化のまち

本部町

「太陽と海と緑 観光文化のまち」の実現を目指し、

- 安心・安全・平和に暮らせる町
- 公正・公平に運営される町
- 社会的に弱い立場の人々に優しい町
- 自然や文化を大切にす町
- 自己向上・自己表現のできる町
- 誇りと自信を持って暮らせる町
- 温かく他人を迎えることができる町

を基本姿勢に、まちづくりを進めていきます。

MOTOBU

沖縄県本部町生まれのぶとモー 楽しいこととおいしいものが大好き♪

BUTOMOO

ぶとモーは、沖縄県の北部にあつた本部町の八重岳というところに住んでいます。
本部町は「太陽と海と緑―観光文化のまち」がキャッチフレーズ。僕の体も本部町でイノシシした太陽の赤色、海の青色、緑の緑色で、頭のデザインは町章がモチイフワんだ。
八重岳は日本一の早味柿の産所で、柿の時期になるとたくさんのお客さんが来ると、本部町に来た時はぜひ僕を採らせてね。

プロフィール

名前 ぶとモー BUTOMOO
生まれたところ 沖縄県本部町八重岳
生まれた日 さくらの季節
性格 好奇心旺盛だけどちょっぴりシャイ
特技 カラテ



ぶとモー



みんな健康で笑顔に



少子・高齡化社会への挑戦

すべての町民に充実した福祉を

子育て支援を中心に医療や雇用、福祉、教育等、定住環境の整備に努め、人口減少に備止めがかかるよう、取り組んでおります。高齢者や障がい者に対する、医療や介護対策等にしっかりと取り組み、住みよい、暮らしやすい本部町にしています。





防災無線・防犯カメラ

暮らしの基本を支える安心と安全



本部町・今帰仁村消防組合



本部警察署



鳩本部緑地 (本部港)



伊豆味駐在所

災害に強いまち、人と

人の絆が強いまち

町民と共に、平和なまちづくり

災害に強い道路・河川・港湾・地すべり地域の整備を関係機関と一体となり安全・安心のまちづくりに努めております。ソフト面においては、災害時における地域コミュニティ機能が大きな役割を果たすことから、避難訓練や各地域での消防団活動の支援を通して、人と人の絆が強いまちづくりを目指していきます。



渡久地港プロムナード



地震・津波避難訓練



本部っ子夏休み地域学習教室

生きる力を身につけて
心も体も健やかに

本部人(もとぶんちゅう)の気質や性格を表す、進取の気性に富んだ「武(ぶ)本部(もとぶ)」という本部人魂を、教育の目標に掲げて、児童生徒一人ひとりに生きる力を身につけさせ、これからの国際化、情報化社会で活躍する人材育成に取り組んでいきます。



ジュニアマラソン大会



人材で未来を拓こう

教育目標

武本部

ブームトゥブ



マリン体験学習

武本部とは、本部の人の「進取の気性」に富み、「質実剛健」で学芸と武芸の両方に秀でている「文武両道」の町民性を表す言葉です。

琉球王朝の第二尚氏時代の18世紀以降に、首里王府による士族の掃農入植が奨励され、県内の各地に掃農士族による、いわゆる屋取り集落が形成されました。特に本部町は県内でも屋取り集落が多い地域で、旧士族やその子孫と地域に元々住んでいた人々が互いに切磋琢磨し本部町を繁栄させてきたことに起因すると言われています。

さらに、本部の変化に富んだ地形や風土など自然環境や生活環境が厳しかったことが、本部の人々に「パイオニア精神」、先駆者としての気質が培われてきた要因となりました。



こどもとぶ会議





もとふ手作り市



やんばるの産業まつり



マグロの水揚げ



モズク



水揚げされたカツオ

町の活性発展は、 経済再興から

上本部飛行場跡地の有効活用や渡久地港を中心としたみなとまちづくり、本部港から本土へと物と人が行き交う航路支援、まちぐるみの再開発等、地域経済循環型社会の形成を図り、成長し続ける町への取り組みを行います。



タンカン



アセローラ



輪ギク

本町の特徴でもある、山・川・海を一体として捉え、自然を生かした風景づくりを推進し、町全体を観光のまちとしてブランド化するという認識で諸施策に取り組み、滞在型観光へとつなげていきます。



もとふ香りネギ



キャベツ



カーブチー



キンキンゴーヤー

あじまあ産業・観光
の拠点づくり

特産品 工芸品



specialty product

海の幸、山の幸、本部の恵み

豊かな自然環境に恵まれた本部町は、特産品の宝庫です。そして現在も、新たな特産品が次々と生み出されています。四季折々の豊かな食材を使った特産品や技巧をこらした工芸品は、どれも作った人の愛情が込められています。ここでは、新たに開発された特産品を中心に、本部町自慢の品をほんの一部ご紹介いたします。

本部の自然で育ったアセロラ フレッシュな製品がいろいろ



植物オイルにアセロラを漬け込んで成分を抽出した天然成分だけで作られた保湿オイルと「Motobuの香り」と名付けられたアセロラの香りのフレグランス。

アセロラ

減農薬で栽培したアセロラの果実や葉を使って、コンポートやジャム、アセロラティーなどの商品を開発。生産から加工まで、すべてハンドメイドで行う。



マフィン

豆腐を作る際に出たおからを使い、トッピングにアセロラやタンカンといった本部町の特産品をあしらったマフィン。パッケージには本部町の自然をイメージしたイラストも。



シークワサー



町内の契約農家が育てたシークワサーを使い、絞汁からパック詰めまでを町内で一貫して行っている。豊かな香りとスッキリした酸味を楽しめる。

さくら



桜餅
八重岳の精華桜の葉とアセロラシロップを使った、ほんのりと淡い桜色が春を連想させる桜餅。餅の中にも刻んだ桜の葉が入っている。

ピクルス



無添加、無農薬の旬の野菜にこだわって、食卓に彩り添えるお漬け物。かつお風味や、シークワサー風味をラインナップ。

やぎ

ヤギミルクジャム

新鮮なヤギミルクを使用したジャムは、ミルクのしっとりとしたコクとさらりとした甘さを楽しめる。



もとぶ山羊肉・もとぶ山羊汁

本部町で飼育されているヤギをもっと身近な存在にしたいと、ヤギ肉を使った商品を開発。

本部町ならではの
美味・滋味がたくさん



カツオ



かつお節

がじゃまるなどの薪を使い昔ながらの製法でつくられるかつお節は、香ばしく豊かな香りを楽しめる。県内中南部から足をはこび買い求める人も多い。



ハイサイ! かつお君

栄養価の高いカツオのなまり節で商品開発。子どもからお年寄りまで毎日手軽に食べてもらえるよう、カレー味やしょう油ベースなど、味つけにも工夫を施している。

もとぶ牛



【沖縄生まれ 沖縄育ち】もとぶ牧場が所有する牛で、日本格付協会が認定した3等級以上の黒毛和牛。厳格な管理の下、牧場オリジナル発酵飼料で育てられている。

特産品 工芸品

specialty product

人の温もりを感じさせる工芸品の数々



豊かな自然に育まれた伝統技術



フクギ染め

フクギ染めの手ぬぐいと小物入れ
防風林としての役目を終えたフクギの皮を使い染料を抽出。時間をかけて染め上げられたフクギ染めは、おだやかで優しい色合い。

陶芸



本部町には南蛮堂と登り窯など3つの窯元が存在し、伝統的なシーサーや日常的な食器など様々な陶芸品が作られている。窯元によって製法が異なり、それぞれ独特の手触りや風合いを楽しむことができる。



ガラス工芸

町内で作られるガラス工芸品（琉球ガラス）は鮮やかな色合いや気泡が美しい。独自の製法により耐熱性のあるグラスも製造されている。



藍染め



沖縄の伝統的な染料である琉球藍は、現在は本町や北部の一部でしか生産されていない。藍染でただ一人の国選定保存技術者である伊野波盛正氏は、伝統の製法で琉球藍特有の鮮やかな紫紺を発色、その技は注目を集めている。

泡盛



こんこんとわき出る清水を用いて仕込まれた泡盛は風味豊か。多くの町民に愛飲されている。40年間熟成された貴重な古酒も存在する。

黒糖



やえざくら黒糖
町内で収穫されたサトウキビを使い作られる黒糖は、そのまま食べても料理に使っても、甘く豊かな香りを楽しむ。

むんじゅる笠

瀬底で栽培された麦わらで編まれたむんじゅる笠は、かつては農夫や漁師が使用していた。現在は琉球舞踊や豊年祭の小道具として愛用されている。作り手は3人しかおらず、一つ一つ手作りのため、貴重な工芸品となっている。



木工芸

**桜の木の離乳食スプーン
桜の木のスプーン
桜の木のフォーク**

倒木した桜の木を使い、離乳食用のスプーンやフォークを製作。赤ちゃんが握りやすいように改良を重ねた形は愛らしく、使いやすいと好評だ。



EVENT CALENDAR

- 1 1月初旬～2月
 - みかん(タンカン)狩り地まる
 - 1月1日～1月4日
 - 海洋博公園新春楽舞で～びる
 - 1月中旬
 - 海洋博公園全国ドリムマラソン大会
 - 1月17日～1月20日
 - もとぶ八重岳桜まつり
- 2 2月初旬から中旬
 - 沖縄国際洋楽博覧会
 - 2月19日
 - フクイの日
- 3
- 4 4月～
 - カツオ漁地まる
 - 4月1日～
 - 高岡き(エメラルドビーチ)
 - 4月下旬
 - カツオのぼり地まる
- 5 5月
 - 国立公園カルスト山ゆり祭り
 - 5月
 - もとぶカツオのぼりまつり
 - 5月
 - 瀬底島ピージャーオーラサイ
 - 5月11日
 - アセローラの日PRイベント
 - 5月12日
 - アセローラの日
- 6 6月10日
 - 6月10日は本郷(むとぶ)の日?
 - 6月10日(日曜日)
 - 健腎(ハーリー)
 - 6月下旬
 - ドリーム船もとぶ
- 7 7月初旬
 - キンキン(健腎)ゴーヤスープ
 - 7月中旬
 - 海洋博公園サマーフェスティバル
 - 7月中旬
 - 本部海洋まつり
- 8 8月初旬
 - やんぼる青年イサーまつり
- 9
- 10 10月第2土曜日
 - カーブターの日
 - 10月～11月
 - みかん(カーブター)狩り地まる
 - 10月17日
 - 沖縄そばの日
 - 10月中旬
 - 本部町そばの日フェスタ
- 11 11月中旬～
 - 海洋博公園ウィンターファンタジー
 - 11月下旬
 - 海洋博公園オクトムフェスティバル
- 12 12月初旬
 - もとぶ船
 - 12月初旬～
 - エニールのウォッチング地まる



本部海洋まつり
毎年7月中旬、3日間に渡って行われる。ハーリー大会や、ナイター闘牛大会、沖縄全島角力大会、パナソニック・グラスボート無料乗船会などさまざまなイベントで盛り上がる。



国立公園カルスト山ゆり祭り
約12万本もの山ゆりと壮大なカルスト地形の景観が楽しめる祭り。夜はライトアップも行う。



瀬底島ピージャーオーラサイ
瀬底島では、毎年5月4日に闘牛大会「ピージャーオーラサイ」を開催。珍しいヤギ闘士のぶつかり合いを見に、町内外から多くの人が島を訪れる人気の行事。



アセローラの日
5月12日の「アセローラの日」前後、アセローラの魅力をより多くの人に知ってもらおうとPRイベントを行っている。



夕陽
沖縄本島の西海岸に位置する本部町は、夕陽がきれいなまちとして有名。一年を通して、思わず息をとむような夕陽をみることが出来る。



キンキン(健腎)ゴーヤスープ
健腎(キンキン)というかつて県内有数のゴーヤ産地だった集落の在来種「キンキンゴーヤー」を復活させるプロジェクト。



自然の魅力!
五感で楽しむ本部の祭り

もとぶ八重岳桜まつり
毎年1月上旬～2月初旬の寒桜桜の開花に合わせて、八重岳桜の森公園で開催。標高453mの八重岳の中腹から山頂までの沿道を約7千本の桜が鮮やかに彩り、訪れる人の目を魅了させる。



本部町そばの日フェスタ
「そばの日」宣言以来、町では毎年沖縄そばの日に合わせて、本部町そばの日フェスタを開催している。

沖縄そばの町宣言
OKINAWA SOBA

平成22年、本部町は県内初の「そばの日」宣言を行い、町全域を「もとぶそば街道」と名付けてPR。カツオ漁の港町として栄えてきた本部町は昔から沖縄そばの店が多く、カツオ出汁の本部そばが人気だ。



海洋博公園サマーフェスティバル

海洋博公園を会場に、県内最大級の約1万発の花火打ちあがる。夏の一大イベントとして、コンサートイベントも行われ、会場は最高潮に盛り上がる。



カツオのぼりまつり
「カツオの町」をPRするために、GW頃に町で掲揚されるカツオのぼりは、本部町初夏の風物詩。



沖縄国際洋楽博覧会
海洋博公園で開催される。日本で最も古い歴史を持つ国内最大級の業のイベント。国内のランナーで唯一授賞される「内閣総理大臣賞」受賞株は必見。

FESTIVAL/EVENT

町民サービスの向上と安心・安全な暮らしのための防災拠点として

平成26年に
新庁舎が
完成しました



旧本郷町役場庁舎

昭和34年に落成し、その後、増築などを行いつつ57年間、町の発展を見守ってきました。



旧上本郷町役場庁舎

昭和46年の合併後、昭和49年までは本郷町役場御花支所として、平成26年までは公営企業課(水道課)として活用されてきました。



本部町役場新庁舎

平成26年10月に落成した本部町役場新庁舎は、行政サービスをより迅速、確実に提供するため工夫が凝らされています。どなたでも利用しやすいよう通路やトイレにはバリアフリー化が施され、防災拠点としての機能も強化されています。



町長 仲宗根 清二



副町長 平良 武康



副町長 高良 文雄

本部町行政区



【文化財】 源氏物語のゆかりの地
【文化財】 源氏物語ゆかりの地(源氏物語文化財) 平定寺(平定寺) 源氏物語ゆかりの地(源氏物語文化財) 平定寺(平定寺) 源氏物語ゆかりの地(源氏物語文化財) 平定寺(平定寺)
■ 電話 49-1
TEL-FAX 47-3741



【文化財】 堀川(国指定天然記念物: 昭和47年指定)
■ 電話 15
TEL-FAX 47-2310



【文化財】 健康大観(健康の比喩)の墓
■ 電話 1061-1
TEL-FAX 47-4197



【文化財】 大洞の有乳虫石炭産(町指定天然記念物: 昭和50年指定)
■ 電話 867-1
TEL-FAX 47-4540



【文化財】 村家文庫(県指定有形文化財: 昭和53年指定)
■ 電話 445-13
TEL-FAX 47-2108



【文化財】 遠久地神社(香川県)
■ 電話 123
TEL-FAX 47-3036



【文化財】 八重岳・高津寺・安和自然保護区(県指定天然記念物: 昭和47年指定)
■ 電話 430-1
TEL-FAX 47-2301



【文化財】 球磨製塩(国指定保存技術: 昭和52年指定)
■ 電話 95
TEL 47-2300-FAX 47-5879



【文化財】 伊野野の石(びりムツクジラ)ジュラニモ
■ 電話 487
TEL-FAX 47-3423



【文化財】 洞元(洞元)
■ 電話 121
TEL-FAX 48-2305



【文化財】 新子
■ 電話 124
TEL-FAX 48-2011



【文化財】 神ノ木(町指定有形文化財: 昭和52年指定)
■ 電話 15B
TEL-FAX 48-2311



【文化財】 ハーリー
■ 電話 593
TEL-FAX 48-2312



【文化財】 備前(町指定有形文化財: 平成29年指定)
■ 電話 457
TEL-FAX 48-2371



【文化財】 大石山のアンモナイト化石(県指定天然記念物: 昭和49年指定)
■ 電話 716-1
TEL-FAX 48-2301



副町長 喜納 政樹



町長 鳥袋 吉徳

本部町議会議員



知念 重吉



宮城 達彦



松川 秀清



西平 一



座間味 栄純



具志堅 勉



石川 博己



大城 正和



崎原 昇



仲間 厚洋



仲宗根 宗弘



崎原 秀進

議会 行政

活力あふれるまちづくりを目指して



資料編

DATE

- 目で見る本部町のくらし **34**
- 土地および気象 **35**
- 地形・面積 **36**
- 人口 **37**
- 行政組織図 **38**
- 歴代町長・議長 **39**
- 財政 **40**
- 特別会計 **41**
- 産業／就業人口 **42**
- 産業／漁獲量 **43**
- 産業／宿泊施設数 **44**
- 教育 **45**
- 福祉・保健衛生 **46**
- 消防・警察 **48**
- 選挙 **50**
- 公共機関その他施設 **51**
- 本部町の歴史 **52**
- 本部町のあゆみ **53**
- 本部町の豆知識 **65**



北海道南富良野町

友好都市

南富良野町との親善交流
 本部町と南富良野町は、昭和62年に本部町、平成元年に南富良野町で開催された国民体育大会のカヌー競技をきっかけに交流が始まり、平成8年に「友好の町」として盟約を締結しました。以来、相互訪問などの文化体験交流を重ね、本部町親善交流団としてこれまでに、300人以上の児童生徒が南富良野町を訪れています。



南富良野町から届いた雪の感触を楽しむ子どもたち

人と人、文化をつなぐ交流

交流事業

南米本部町出身子弟研修生受け入れ事業

本部町は、戦前から戦後の復興期にかけて、南米に渡った本部町出身者から多くの援助をいただきました。その恩返しや、本部町と南米諸国のかげ橋となる人材の育成を目的に平成7年から、ペルー、アルゼンチン、ブラジルの3カ国から研修生の受け入れを行っています。研修生は、語学研修や、三線教室、町内の各種イベントなどへの参加を通して沖縄や本部町の文化を学び、その多くが南米3カ国と本部町をつなぐ本部町人会の活動のけん引役として活躍しています。



資料編

DATE

- 目で見ると本部町の暮らし **34**
- 土地および気象 **35**
- 地形・面積 **36**
- 人口 **37**
- 行政組織図 **38**
- 歴代町長・議長 **39**
- 財政 **40**
- 特別会計 **41**
- 産業／就業人口 **42**
- 産業／漁獲量 **43**
- 産業／宿泊施設数 **44**
- 教育 **45**
- 福祉・保健衛生 **46**
- 消防・警察 **48**
- 選挙 **50**
- 公共機関その他施設 **51**
- 本部町の歴史 **52**
- 本部町のあゆみ **53**
- 本部町の豆知識 **65**



北海道南富良野町

友好都市

南富良野町との親善交流

本部町と南富良野町は、昭和62年に本部町、平成元年に南富良野町で開催された国民体育大会のカヌー競技をきっかけに交流が始まり、平成8年に友好の町として盟約を締結しました。以来、相互訪問などの文化体験交流を重ね、本部町親善交流団としてこれまでに、300人以上の児童生徒が南富良野町を訪れています。



南富良野町から届いた雪の感触を楽しむ子どもたち

人と人、文化をつなぐ交流

交流事業

南米本部町出身子弟研修生受け入れ事業

本部町は、戦前から戦後の復興期にかけて、南米に渡った本部町出身者から多くの援助をいただきました。その恩返しや、本部町と南米諸国のかけ橋となる人材の育成を目的に平成7年から、ペルー、アルゼンチン、ブラジルの3カ国から研修生の受け入れを行っています。研修生は、語学研修や、三線教室、町内の各種イベントなどへの参加を通して沖縄や本部町の文化を学び、その多くが南米3カ国と本部町をつなぐ本部町人会の活動のけん引役として活躍しています。



位置・地勢・気候



本部町は沖縄本島北部、東シナ海に突き出た本部半島の西半分を占め、南東部は名護市、北東部は今帰仁村に隣接しています。地形は大きく山地と台地・低地に分かれ、本部半島のほぼ中央を西に流れる満名川により、南北に二分されます。半島南側には、標高453mの八重岳を中心に古生代ペルム紀の石灰岩(本部層)を主体とした山地が連なります。半島北側では、泥質岩(与那嶺層)を主体とした標高300m以下の山地が連なり、山里・大堂には、中生代三畳紀の石灰岩からなる円錐カルスト地域が広がっています。浦崎から備瀬、具志堅にかけての地域や瀬底島、水納島は、新生代第四紀のサンゴ礁を起源とする石灰岩(琉球層群)が標高70m以下の広い台地をつくっています。伊野波から渡久地には沖積層からなる低地が広がり、かつては満名タープクと呼ばれる稲作地域でした。また、瀬底島や水納島、半島海岸部にはサンゴ礁が縁取り、美しい裾礁をつくっています。

気候は亜熱帯に属する沖縄。本部町も年平均気温が23.6℃と温暖で、年間降水量が2471.0mmとなります。

気象観測

単位：気温℃ 雨量 mm

	1月		2月		3月		4月		5月		6月	
	気温	雨量										
平成22年	17.2	134.5	18.4	211.0	20.3	130.5	20.3	130.5	24.4	610.0	27.6	173.0
平成23年	15.1	72.5	18.0	78.5	17.4	53.5	17.4	53.5	24.1	404.0	28.9	234.0
平成24年	16.8	128.5	17.7	164.5	19.9	74.0	19.9	74.0	24.9	341.5	27.8	224.0
平成25年	17.0	165.0	18.8	87.0	20.8	211.5	20.8	211.5	24.3	200.0	28.9	87.5
平成26年	17.4	75.0	18.0	156.5	18.8	166.0	18.8	166.0	23.9	358.5	27.3	358.0
平均	16.7	115.1	18.2	139.5	19.4	127.1	19.4	127.1	24.3	382.8	28.1	215.3

	7月		8月		9月		10月		11月		12月	
	気温	雨量										
平成22年	29.5	434.5	29.8	390.0	28.9	170.5	25.9	373.0	21.6	141.0	18.2	88.0
平成23年	30.0	37.0	29.6	749.0	28.6	45.0	25.5	261.0	23.6	267.0	18.5	113.5
平成24年	30.4	95.5	29.0	639.0	27.8	456.5	28.3	62.5	21.3	210.5	18.6	135.5
平成25年	30.8	30.5	30.7	165.0	29.1	93.0	25.7	212.5	21.5	119.5	17.6	113.5
平成26年	30.5	379.5	29.8	244.0	29.5	87.5	25.6	395.5	22.8	55.0	17.8	109.5
平均	30.2	195.4	29.8	437.4	28.8	170.5	26.2	260.9	22.2	158.6	18.1	112.0

	年平均気温	年間降水量
平成22年	23.6	3,020.5
平成23年	23.4	2,419.5
平成24年	23.7	2,778.5
平成25年	23.9	1,672.5
平成26年	23.6	2,464.0

気温 ℃ 毎日10:00と18:00の観測データの平均
雨量 mm 月の合計

資料：公営企業課・沖縄気象台

人口：13,638人(平成27年2月末現在)



目で見る本部町の暮らし



住民基本台帳による字別人口・世帯数の推移

単位：人・世帯

字名	平成23年				平成24年				平成25年				平成26年			
	総数	男	女	世帯数												
瀬底	856	444	412	384	868	448	420	393	860	451	409	386	862	452	410	384
崎本部	735	366	369	318	748	374	374	324	754	381	373	322	754	376	378	331
健堅	763	396	367	315	750	383	367	313	730	376	354	307	716	370	346	309
辺名地	452	229	223	188	448	239	209	194	442	231	211	190	423	220	203	187
大浜	1,203	612	591	503	1,253	617	636	530	1,269	633	636	541	1,342	667	675	594
谷茶	842	376	466	451	837	378	459	446	841	383	458	444	819	370	449	443
渡久地	1,225	585	640	530	1,181	568	613	522	1,156	560	596	520	1,165	571	594	521
東	1,359	685	674	542	1,325	669	656	532	1,320	670	650	538	1,279	647	632	532
大嘉陽	127	65	62	52	138	71	67	54	142	73	69	55	133	72	61	52
伊豆味	875	449	426	385	846	437	409	388	837	435	402	392	818	429	389	380
並里	277	143	134	119	272	138	134	120	272	138	134	119	258	130	128	117
伊野波	669	331	338	246	669	322	347	246	656	321	335	241	641	319	322	235
山里	203	115	88	82	205	114	91	86	202	114	88	82	206	115	91	84
野原	286	158	128	103	283	157	126	104	273	152	121	108	286	156	130	110
浜元	491	250	241	243	502	259	243	248	507	264	243	251	490	252	238	248
浦崎	335	169	166	135	335	173	162	137	332	173	159	137	320	164	156	135
古島	85	46	39	38	83	45	38	39	81	42	39	39	88	47	41	42
大堂	68	35	33	24	66	35	31	24	58	31	27	22	55	30	25	21
謝花	311	150	161	126	319	158	161	129	319	157	162	129	325	163	162	132
北里	296	166	130	112	311	170	141	121	312	175	137	119	313	172	141	118
嘉津宇	98	51	47	48	98	51	47	49	94	50	44	50	92	50	42	48
具志堅	472	235	237	232	476	242	234	235	459	232	227	227	457	229	228	229
新里	367	170	197	149	380	181	199	152	373	178	195	152	379	191	188	153
備瀬	514	263	251	259	508	263	245	262	507	264	243	263	486	248	238	261
石川	196	104	92	104	192	99	93	102	190	101	89	100	193	103	90	101
山川	503	254	249	240	517	260	257	257	507	259	248	260	518	259	259	263
豊原	243	127	116	95	232	122	110	93	234	117	117	100	234	118	116	105
合計	13,851	6,974	6,877	6,023	13,842	6,973	6,869	6,100	13,727	6,961	6,766	6,094	13,652	6,920	6,732	6,135

各年12月末現在 ※水納島は瀬底に含む 資料：住民課

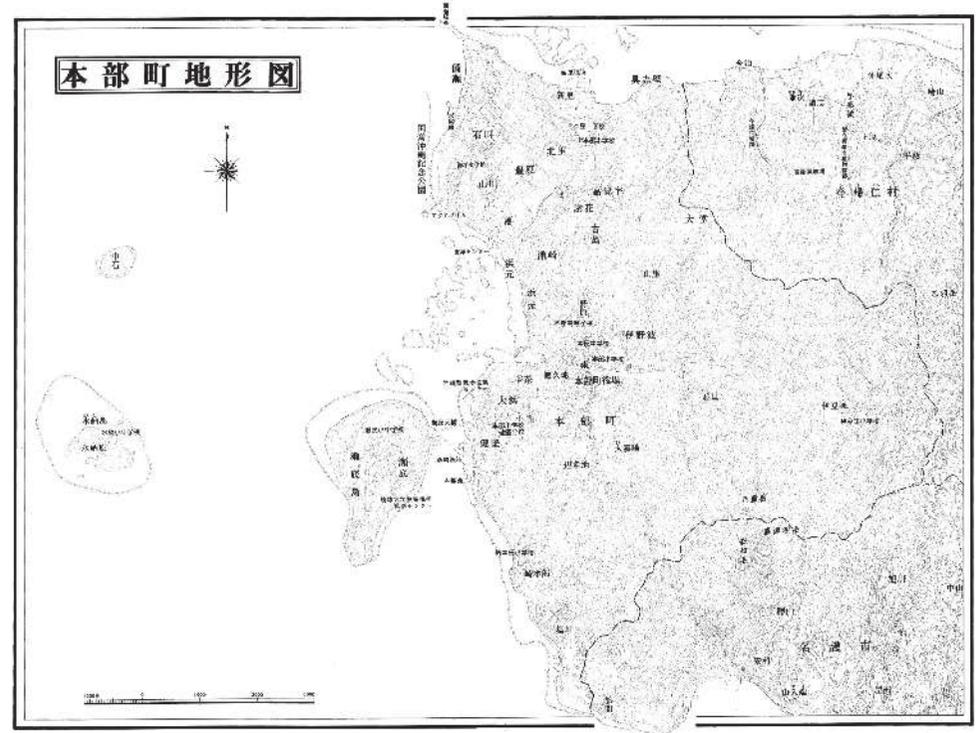
国勢調査人口および世帯数の推移

単位：人・世帯

年	A+B	本部町				旧上本部村			
		計(A)	男	女	世帯数	計(B)	男	女	世帯数
大正 9年	22,492	22,492	10,687	11,805	4,132	—	—	—	—
14年	21,859	21,859	10,547	11,312	4,289	—	—	—	—
昭和 5年	23,281	23,281	10,902	12,379	4,455	—	—	—	—
10年	21,963	21,963	10,350	11,613	4,544	—	—	—	—
15年	20,409	20,409	9,417	10,992	4,375	—	—	—	—
20年	—	—	—	—	—	—	—	—	—
25年	27,552	21,010	9,734	11,276	4,266	6,542	2,888	3,654	1,414
30年	22,854	17,105	8,025	9,080	3,430	5,749	2,721	3,028	1,190
35年	21,442	16,365	7,820	8,545	3,395	5,077	2,402	2,675	1,122
40年	19,657	15,068	7,246	7,822	3,078	4,589	2,192	2,397	1,029
45年	17,152	13,664	6,577	7,087	3,022	3,488	1,635	1,853	947
50年	17,823	17,823	9,001	8,822	4,319	—	—	—	—
55年	15,307	15,307	7,698	7,609	4,352	—	—	—	—
60年	15,116	15,116	7,551	7,565	4,455	—	—	—	—
平成 2年	15,043	15,043	7,455	7,588	4,604	—	—	—	—
7年	14,718	14,718	7,303	7,415	4,675	—	—	—	—
12年	14,522	14,522	7,266	7,256	4,706	—	—	—	—
17年	14,383	14,383	7,163	7,220	4,878	—	—	—	—
22年	13,870	13,870	6,989	6,881	5,049	—	—	—	—

※昭和22年8月1日、本部町から上本部村が分村、昭和46年11月1日再び合併
※昭和15年～30年は12月1日現在、その他の年は10月1日現在

資料：国勢調査報告書



字別面積

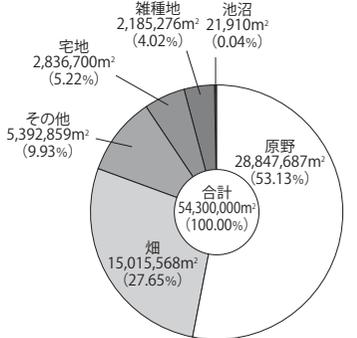
単位：㎡

字	面積	字	面積	字	面積
瀬底	3,323,363	伊豆味	11,131,095	謝花	457,230
崎本部	5,753,344	並里	4,866,496	北里	1,377,101
健堅	2,374,543	伊野波	3,129,640	嘉津宇	1,115,540
辺名地	3,264,226	山里	2,112,378	具志堅	2,031,342
大浜	629,083	野原	605,016	新里	834,952
谷茶	283,075	浜元	651,241	備瀬	1,437,577
渡久地	686,333	浦崎	682,146	石川	900,728
東	422,083	古島	940,236	山川	1,250,940
大嘉陽	2,146,119	大堂	951,293	豊原	962,882
計	54,320,000				

※無番地等を除く

資料：町税対策課

地目別面積

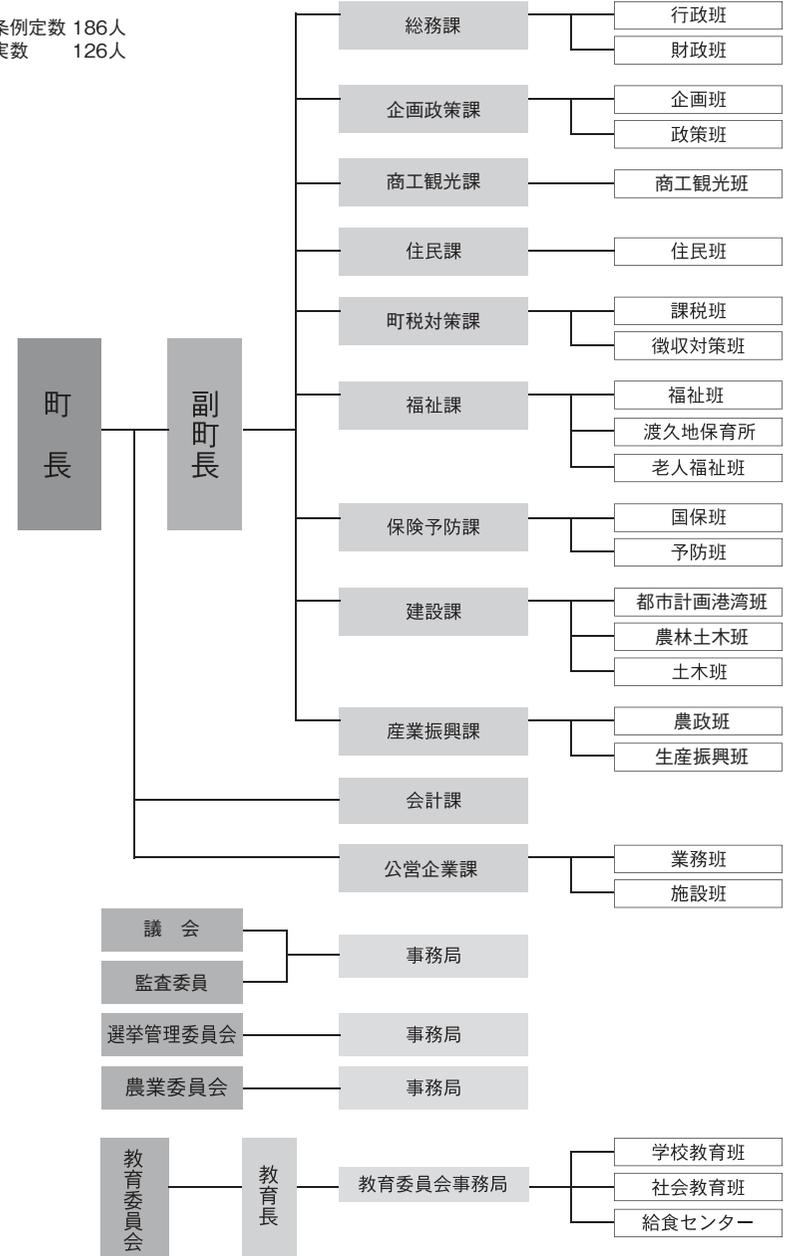


資料：町税対策課

(平成27年1月31日現在)

本部町行政組織図

条例定数 186人
実数 126人



歴代地頭代、間切長、村長、町長

職別	氏名	就任年月日	退任年月日
地頭代	金城利助	不 明	不 明
"	與那覇角助	"	"
間切長	仲宗根源蔵	"	"
"	並里仙吉	"	"
"	仲里千三郎	明治 33.	明治 37. 2. 10
"	玉城利助	" 37. 2. 11	" 38. 11. 30
"	嘉数宜良	" 38. 12. 1	" 41. 3. 31
村 長	"	" 41. 4. 1	" 43. 7. 21
管掌村長	植村長丈	" 43. 7. 22	" 43. 10. 31
村 長	上間徳之助	" 43. 11. 1	大正 2. 4. 10
"	仲原英仁	大正 2. 4. 11	" 10. 6. 30
"	上間徳之助	" 10. 7. 1	" 12. 6. 29
管掌村長	比嘉義源	" 12. 6. 30	" 12. 9. 30
村 長	金城利次郎	" 12. 10. 1	昭和 2. 11. 3
"	仲宗根源栄	昭和 2. 11. 4	" 14. 4. 8
管掌村長	比嘉良敬	" 14. 4. 9	" 14. 5. 9
臨時村長	仲宗根嘉四郎	" 14. 5. 10	" 14. 6. 29
村 長	嘉数宜有	" 14. 6. 30	" 15. 12. 14
町 長	"	" 15. 12. 15	" 18. 8. 5
管掌村長	比嘉幸安	" 18. 8. 6	" 19. 2. 17
"	稲嶺成珍	" 19. 2. 18	" 19. 4. 5
町 長	山城宗雄	" 19. 4. 6	" 20. 11. 30
"	金城正幸	" 20. 12. 1	" 21. 4. 29
"	山川宗道	" 21. 4. 30	" 23. 2. 28
"	兼次佐一	" 23. 3. 1	" 25. 7. 16
"	上原嘉四郎	" 25. 7. 18	" 29. 9. 20
"	玉城利清	" 29. 9. 21	" 37. 9. 21
"	渡久地政仁	" 37. 9. 22	" 45. 9. 21
"	並里安博	" 45. 9. 22	" 61. 9. 21
"	金城英克	" 61. 9. 22	平成 6. 9. 20
"	長濱徳松	平成 6. 9. 21	" 10. 9. 20
"	仲榮眞盛順	" 10. 9. 21	" 18. 9. 20
"	高良文雄	" 18. 9. 21	現 在

歴代議会議長(戦後)

歴代	氏名	就任	退任
1	仲原英通	昭和23. 10.	昭和24. 11. 2
2	中曾根源英	" 24. 11. 3	" 25. 9. 9
3	親川孫蔵	" 25. 9. 10	" 28. 3. 28
4	中曾根源英	" 28. 3. 29	" 34. 3. 24
5	仲栄眞盛永	" 34. 3. 25	" 36. 3. 28
6	親川孫蔵	" 36. 3. 29	" 44. 3. 28
7	島崎正吉	" 44. 3. 29	" 55. 3. 28
8	玉城登	" 55. 3. 29	" 56. 3. 28
9	浦崎直成	" 56. 3. 29	" 60. 3. 28
10	長嶺清治	" 60. 3. 29	平成 5. 3. 28
11	岸本恵光	平成 5. 3. 30	" 9. 3. 28
12	喜納政軌	" 9. 3. 29	" 13. 3. 28
13	仲村幸松	" 13. 3. 29	" 17. 3. 28
14	石川博巳	" 17. 3. 29	" 18. 8. 29
15	小浜利秀	" 18. 9. 29	" 21. 3. 28
16	具志堅 透	" 21. 3. 29	" 24. 2. 13
17	大城正和	" 24. 2. 14	" 25. 3. 28
18	島袋吉徳	" 25. 3. 29	現 在

旧上本部村歴代村長

歴代	氏名	就任	退任
1	嘉数宜有	昭和22. 8. 1	昭和25. 4. 9
2	宮里 真	" 25. 4. 10	" 33. 4. 6
3	饒平名知永	" 33. 4. 7	" 41. 4. 7
4	渡久地政紀	" 41. 4. 8	" 45. 4. 7
5	仲村松秀	" 45. 4. 8	" 46. 10. 31

昭和22年8月1日本部町より分村、昭和46年11月1日合併

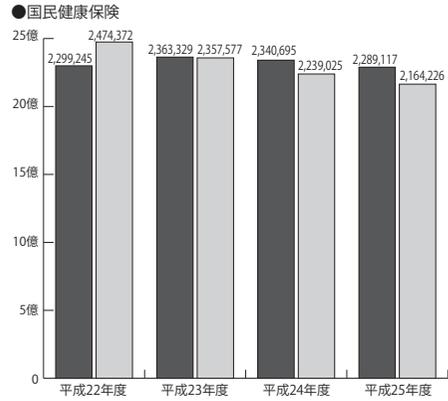
旧上本部村歴代議会議長

歴代	氏名	就任	退任
1	宮里 真	昭和23. 9. 23	昭和25. 3.
2	仲里松吉	" 25. 4. 1	" 25. 10.
3	大村光荣	" 25. 10. 7	" 36. 3.
4	山内昌寛	" 36. 3. 28	" 44. 3.
5	浦崎直成	" 44. 3. 28	" 46. 10. 31

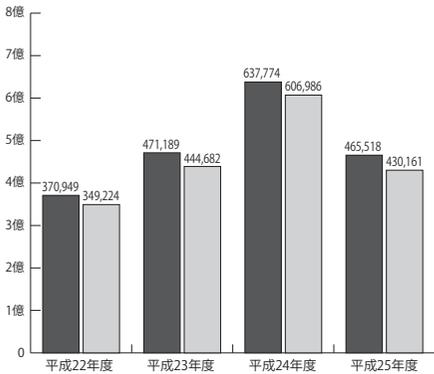
昭和22年8月1日本部町より分村、昭和46年11月1日合併

特別会計 決算の推移

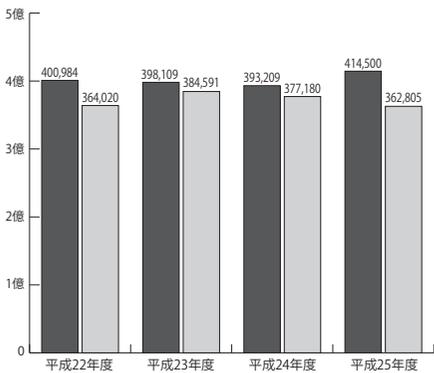
歳入 歳出 単位:千円



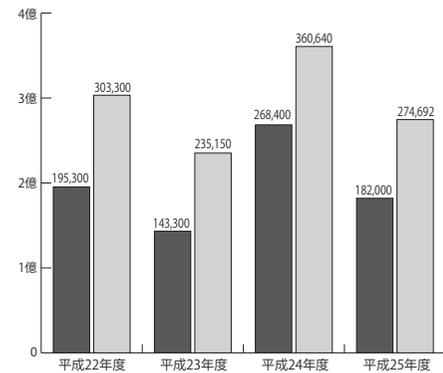
●公共下水道会計



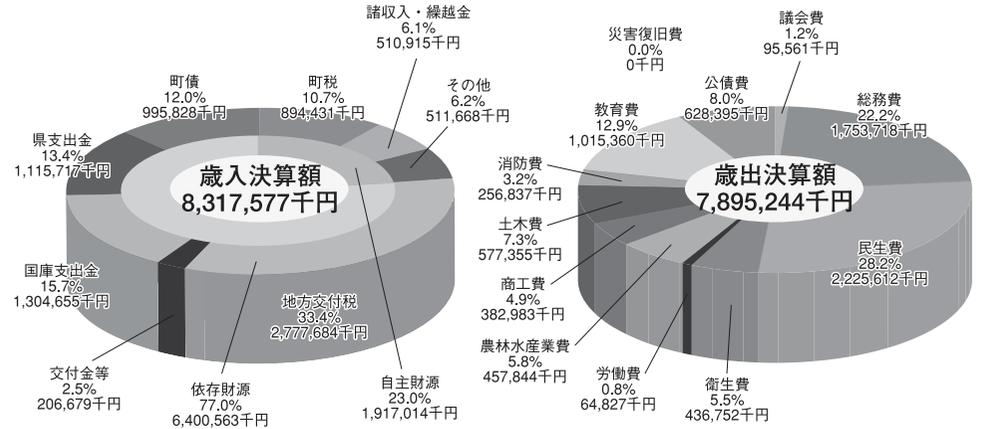
●水道事業(収益的収入・支出)



●水道事業(資本的収入・支出)



平成25年度 一般会計決算



一般会計 決算の推移

歳入 単位:千円

区分	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
町税	867,927	858,447	886,962	894,431
地方譲与税	58,986	57,391	54,228	51,603
利子割交付金	1,951	2,111	3,491	1,568
配当割交付金	387	507	549	1,114
株式等譲渡所得割交付金	152	133	144	1,827
地方消費税交付金	107,410	104,181	103,795	102,371
ゴルフ場利用税交付金	23,713	23,354	22,755	21,687
自動車取得税交付金	10,635	8,216	11,187	10,971
施設等所在市町村調整交付金	10,693	12,620	12,684	13,019
地方特例交付金	15,354	15,525	1,567	1,507
地方交付税	2,690,416	2,726,973	2,691,962	2,777,684
交通安全対策特別交付金	982	939	987	1,012
分担金及び負担金	66,814	56,593	61,001	65,311
使用料及び手数料	77,012	76,197	78,385	80,783
国庫支出金	948,408	1,601,703	1,351,716	1,304,655
県支出金	1,058,785	669,307	983,903	1,115,717
財産収入	50,562	29,095	61,161	238,496
寄附金	13,030	7,892	8,210	7,605
繰入金	5,979	9,834	5,804	119,473
繰越金	248,435	352,182	286,310	311,383
諸収入	217,440	213,483	183,277	199,532
町債	459,100	572,000	1,127,472	995,828
歳入合計	6,934,170	7,398,683	7,937,550	8,317,577

歳出 単位:千円

区分	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
議会費	77,598	101,636	87,621	95,561
総務費	812,175	807,518	754,404	1,753,718
民生費	2,387,236	2,182,088	2,235,818	2,225,612
衛生費	348,177	376,657	382,336	436,752
労働費	79,194	92,520	98,635	64,827
農林水産業費	262,949	163,766	426,480	457,844
商工費	49,335	1,075,265	195,905	382,983
土木費	443,823	387,119	373,654	577,355
消費費	365,988	251,271	267,242	256,837
教育費	903,511	786,588	2,085,280	1,015,360
災害復旧費	4,220	78,023	11,932	0
公債費	847,781	809,922	706,861	628,395
諸支出金	0	0	0	0
予備費	0	0	0	0
歳出合計	6,581,987	7,112,373	7,626,168	7,895,244

海面漁業魚種別漁獲量

単位：t

本部町	魚類	魚										えび類	かに類	貝類	いか類	たこ類	うに類	海産ほ乳類	水産動物類	その他の類	海藻類
		まぐろ類	かじき類	かつお類	さめ類	むろあじ類	ぶり類	たちうお類	たい類	さわら類	魚の他の類										
平成21年	170	54	0	80	-	0	0	0	1	-	35	0	0	0	33	1	-	-	-	-	-
平成22年	160	49	0	78	-	0	0	0	1	-	33	0	-	0	23	0	-	-	-	-	-
平成23年	71	20	0	29	-	0	0	0	0	0	21	0	-	0	18	1	-	-	-	-	-

北部12市町村別海面漁業魚種別漁獲量(平成24年)

単位：t

市町村	魚類	魚										えび類	かに類	貝類	いか類	たこ類	うに類	海産ほ乳類	水産動物類	その他の類	海藻類
		まぐろ類	かじき類	かつお類	さめ類	むろあじ類	ぶり類	たちうお類	たい類	さわら類	魚の他の類										
国頭村	78	14	2	1	0	0	2	0	1	1	57	2	1	6	37	1	-	-	-	-	0
大宜味村	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	0	0	0	2	-	-	-	-	-	-
東村	36	17	1	1	-	0	0	0	0	0	16	1	1	2	27	0	-	-	-	0	-
今帰仁村	65	0	0	0	0	0	0	0	0	0	63	1	0	16	20	7	0	-	2	1	
本部町	93	30	0	44	-	0	0	0	0	0	17	0	-	0	17	0	-	-	-	-	-
名護市	199	83	10	3	0	0	2	0	2	1	97	1	2	9	192	4	-	8	-	1	
恩納村	44	2	3	1	-	0	0	0	-	1	36	1	0	30	5	19	-	-	-	0	
宜野座村	51	33	0	2	-	-	-	-	-	1	15	0	0	2	0	3	-	-	-	10	
金武町	14	1	0	0	-	2	0	-	1	0	9	0	0	0	13	1	-	-	-	-	
伊江村	229	110	14	4	4	-	2	-	-	1	94	0	0	4	262	1	-	-	0	0	
伊平屋村	10	2	-	-	-	-	-	-	-	-	7	0	1	14	0	1	-	-	-	-	
伊是名村	30	-	-	1	-	-	-	-	-	0	29	0	1	6	1	4	-	-	0	0	

資料：「沖縄統計年鑑」、「沖縄農林水産統計年報」より抜粋

家畜家禽の種類別飼養頭羽数

単位：頭、羽

本部町	牛		馬	豚	山羊	水牛	鶏		うさぎ
	肉用	乳用					採卵鶏	ブロイラー	
平成21年	2,482	0	6	7,600	442	1	3,602	12,000	109
平成22年	2,475	0	6	7,649	423	1	2,578	13,000	68
平成23年	2,581	-	5	7,645	401	1	2,541	13,000	63

資料：「沖縄県統計年鑑」より抜粋

北部12市町村別家畜家禽の種類別飼養頭羽数(平成24年)

単位：頭、羽

市町村	牛		馬	豚	山羊	水牛	鶏		うさぎ
	肉用	乳用					採卵鶏	ブロイラー	
国頭村	576	266	5	38,626	155	-	565	-	8
大宜味村	755	56	22	8,213	58	-	34,535	137,946	19
東村	377	-	29	16,601	30	-	150	-	-
名護市	689	42	19	22,967	964	-	327,096	226,067	123
今帰仁村	2,421	-	13	1,175	610	-	754	200	76
本部町	2,527	-	4	4,121	515	1	2,691	14,000	65
恩納村	277	-	11	1,305	197	2	1,008	263,000	-
宜野座村	519	51	-	5,152	104	-	105,773	-	-
金武町	286	177	-	8,948	166	-	66,579	5	14
伊江村	4,781	155	43	14	87	-	52	-	-
伊平屋村	292	-	3	27	194	-	46	-	1
伊是名村	221	-	-	94	60	-	94	-	3

資料：「沖縄県統計年鑑」より抜粋

産業別就業人口(15歳以上)

単位：人

区分	平成2年			平成7年			平成12年			平成17年			平成22年		
	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女
計	6,182	3,840	2,342	6,346	3,817	2,529	6,185	3,719	2,466	5,975	3,411	2,564	6,304	3,585	2,719
第1次産業	1,591	1,123	468	1,305	918	387	918	680	238	768	581	187	703	559	144
農業	1,468	1,004	464	1,190	806	384	820	587	233	681	505	176	618	480	138
林業	1	1	0	5	5	0	7	7	0	4	3	1	5	5	0
漁業・水産業	122	118	4	110	107	3	91	86	5	83	73	10	80	74	6
第2次産業	1,313	1,121	192	1,399	1,188	211	1,476	1,253	223	1,179	987	192	1,140	978	162
鉱業	26	22	4	42	38	4	68	59	9	12	12	0	8	8	0
建設業	908	834	74	987	899	88	1,100	984	116	849	758	91	795	714	81
製造業	379	265	114	370	251	119	308	210	98	318	217	101	337	256	81
第3次産業	3,276	1,595	1,681	3,640	1,710	1,930	3,790	1,786	2,004	4,012	1,835	2,177	4,416	2,022	2,394
卸・小売業	1,135	436	699	1,299	503	796	25	18	7	881	352	529	912	381	531
金融・保険業	62	13	49	63	16	47	224	201	23	56	15	41	63	23	40
不動産業	11	3	8	6	4	2	1,208	469	739	21	9	12	73	50	23
運輸・通信業	228	207	21	223	202	21	50	14	36	228	197	31	231	199	32
電気水道ガス	22	16	6	30	23	7	11	7	4	22	19	3	14	11	3
サービス業	1,589	742	847	1,793	800	993	2,025	901	1,124	2,593	1,087	1,506	2,908	1,213	1,695
公務	229	178	51	226	162	64	247	176	71	211	156	55	215	145	70
分類不能	2	1	1	2	1	1	1	0	1	16	8	8	45	26	19

資料：国勢調査報告書

経営耕地の状況(販売農家)

本部町	経営耕地のある農家数	経営耕地の総面積	田								
			田のある農家数	面積計	稲を作った田		稲以外の作物だけを作った田		何も作らなかった田		
					農家数	面積	農家数	面積	農家数	面積	
274	22,748	2	43	-	-	-	-	2	43	-	-

本部町	畑のある農家数	面積計	畑(樹園地を除く)						樹園地		
			普通作物を作った畑		飼料用作物だけを作った畑		牧草専用		何も作らなかった畑		
			農家数	面積	農家数	面積	農家数	面積	農家数	面積	
198	16,019	192	15,134	-	-	10	577	12	308	95	6,686

資料：農林水産省「2010年世界農業センサス」

販売目的で栽培した作物の栽培面積(販売農家)

単位：a

本部町	作付栽培面積	類別作付(栽培)面積																					
		総計										露地				施設							
		稲	麦	雑穀	いも	豆	農作物	野菜	・花き	木	作付栽培面積	稲	麦	雑穀	いも	豆	農作物	野菜	・花き	木	作付栽培面積		
x	-	-	x	x	-	8,399	2,344	x	-	x	-	x	x	x	-	8,399	2,153	x	-	1,394	191	1,203	-

資料：農林水産省「2010年世界農業センサス」

農産物販売金額規模別経営体数

単位：経営体

本部町	計	農産物の販売なし	50万円未満	50~100万円	100~200万円	200~300万円	300~500万円	500~700万円	700~1,000万円	1,000~1,500万円	1,500~2,000万円	2,000~3,000万円	3,000~5,000万円	5,000~1億円	1~3億円	3~5億円	5億円以上
299	7	38	69	52	40	30	18	16	17	9	2	-	-	-	-	-	1

資料：農林水産省「2010年世界農業センサス」

町立幼稚園の概況

各年5月1日現在

園名	項目 年度	園児数					学級数					教員数				
		22年	23年	24年	25年	26年	22年	23年	24年	25年	26年	22年	23年	24年	25年	26年
上本部幼稚園		18	23	17	18	24	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
本部幼稚園		75	61	78	67	77	3	2	3	3	3	2	2	3	3	
伊豆味幼稚園		6	9	12	10	9	1	1	1	1	1	1	1	1	1	
崎本部幼稚園		3	3	4	4	5	1	1	1	1	1	1	1	1	1	
瀬底幼稚園		4	5	8	9	3	1	1	1	1	1	1	1	1	1	
計		106	101	119	108	118	7	6	7	7	7	6	6	7	7	

資料：学校基本調査報告書

町立小学校の概況

各年5月1日現在

学校名	項目 年度	児童数					学級数					教員数				
		22年	23年	24年	25年	26年	22年	23年	24年	25年	26年	22年	23年	24年	25年	26年
上本部小学校		157	156	160	162	154	7	7	7	7	7	15	12	12	13	13
本部小学校		469	469	454	475	484	18	18	17	18	19	30	26	27	29	26
伊豆味小学校		37	39	34	34	32	4	4	4	4	4	7	8	10	10	8
崎本部小学校		33	30	28	30	26	4	4	3	3	3	8	7	6	6	6
瀬底小学校		34	36	38	44	48	4	4	4	4	4	9	7	8	7	7
水納小学校		4	3	2	1	2	2	2	1	1	1	4	4	3	3	3
計		734	733	716	746	746	39	39	36	37	38	73	64	66	68	63

資料：学校基本調査報告書

町立中学校の概況

各年5月1日現在

学校名	項目 年度	生徒数					学級数					教員数				
		22年	23年	24年	25年	26年	22年	23年	24年	25年	26年	22年	23年	24年	25年	26年
上本部中学校		81	80	67	65	74	4	4	4	4	4	16	11	12	13	12
本部中学校		280	267	280	263	250	11	11	11	10	11	28	28	29	25	21
伊豆味中学校		30	23	25	14	17	3	3	3	3	3	10	9	9	9	9
瀬底中学校		25	21				3	3				11	10			
水納中学校		1	2	2	3	2	1	1	1	2	1	4	4	4	6	4
計		417	393	374	345	343	22	22	19	19	19	69	62	54	53	46

※瀬底中学校平成24年3月31日廃校

資料：学校基本調査報告書

年度別中学校卒業後の進路状況

各年5月1日現在

	卒業者総数			A高等学校等進学者			専修学校等進学者・入学者			就職者			左記以外の者			左記Aのうち他県への進学者			進学率
	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	
平成22年3月卒業	136	68	68	126	65	61	1	0	1	2	1	1	7	2	5	2	0	2	93.4%
平成23年3月卒業	147	70	77	141	64	77	1	1	0	4	4	0	1	1	0	0	0	0	96.6%
平成24年3月卒業	142	71	71	135	66	69	2	1	1	0	0	0	5	4	1	1	0	1	96.5%
平成25年3月卒業	134	77	57	128	72	56	0	0	0	4	3	1	1	1	0	0	0	0	95.5%
平成26年3月卒業	121	61	60	115	58	57	0	0	0	4	1	3	2	2	0	0	0	0	95.0%

※「A高等学校等進学者」及び「専修学校等進学者・入学者」は、進学又は入学し、かつ就職した者を含む。

資料：学校基本調査報告書

種別宿泊施設数等(平成25年)

(単位：軒、室、人)

軒数	ホテル・旅館				収容人員 <th colspan="4">民宿</th> <th rowspan="2">収容人員 <th colspan="4">ペンション・貸別荘</th> <th rowspan="2">収容人員 <th colspan="4">ドミトリー・ゲストハウス</th> <th rowspan="2">収容人員 </th></th></th>	民宿				収容人員 <th colspan="4">ペンション・貸別荘</th> <th rowspan="2">収容人員 <th colspan="4">ドミトリー・ゲストハウス</th> <th rowspan="2">収容人員 </th></th>	ペンション・貸別荘				収容人員 <th colspan="4">ドミトリー・ゲストハウス</th> <th rowspan="2">収容人員 </th>	ドミトリー・ゲストハウス				収容人員
	和	洋	計	計		和	洋	計	計		和	洋	計	計		和	洋	計	計	
9	9	689	698	2,435	17	88	20	108	347	37	59	65	124	465	5	2	8	10	41	

軒数	ウィークリーマンション				収容人員 <th colspan="4">団体経営施設</th> <th rowspan="2">収容人員 <th colspan="4">ユースホステル</th> <th rowspan="2">収容人員 <th colspan="4">合計</th> <th rowspan="2">収容人員 </th></th></th>	団体経営施設				収容人員 <th colspan="4">ユースホステル</th> <th rowspan="2">収容人員 <th colspan="4">合計</th> <th rowspan="2">収容人員 </th></th>	ユースホステル				収容人員 <th colspan="4">合計</th> <th rowspan="2">収容人員 </th>	合計				収容人員			
	和	洋	計	計		和	洋	計	計		和	洋	計	計		和	洋	計	計				
2	0	20	20	78	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	70	158	802	960	3,366

資料：沖縄県「平成25年版観光要覧」より抜粋

観光入域者数の推移

単位：人

	平成17年	平成18年	平成19年	平成20年	平成21年	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年
沖縄県入域者数	5,500,100	5,636,900	5,869,200	6,045,500	5,650,800	5,717,900	5,528,000	5,924,700	6,580,300	7,169,900
海洋博公園入域者数	2,758,714	2,991,145	3,351,089	3,676,669	3,420,727	3,386,664	3,478,592	3,714,274	4,078,597	4,345,261
水納島入域者数	67,478	63,085	60,346	57,003	48,190	44,085	45,931	43,369	50,390	52,591
本部町内宿泊者数	432,292	451,605	461,093	485,804	436,313	408,026	391,165	386,191	405,799	486,745

資料：本部町観光協会

町営保育所及び認可保育園の状況

公立保育所 (平成25年4月1日現在)

(単位:人)

保育所名	保育士数	定員	年齢別措置人員						開設年月日
			0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児以上	合計	
渡久地保育所	12	120	6	12	17	20	34	89	昭和40年7月1日

認可保育園 (平成25年4月1日現在)

(単位:人)

法人ドリーム保育園	15	80	9	18	24	16	29	96	昭和56年4月1日
法人美ら咲保育園	14	60	8	18	12	18	16	72	平成16年4月1日
法人ゆい保育園	18	80	9	23	24	20	20	96	平成19年4月1日
法人風のわ保育園	15	60	8	12	18	11	23	72	平成21年4月1日
合計	62	280	34	71	78	65	88	336	

資料:福祉課

月別ごみ処理状況(平成25年度)

	可燃ごみ(t)	不燃ごみ(t)	し尿(kℓ)	
平成22年度	5,608.78	48.84	2,524.64	
平成23年度	5,731.56	67.97	2,313.45	
平成24年度	6,019.60	99.72	3,446.91	
平成25年度	4月	510.54	7.44	341.48
	5月	513.30	5.76	334.38
	6月	474.97	4.74	338.39
	7月	539.15	4.00	362.34
	8月	542.45	4.25	387.58
	9月	446.99	8.94	305.99
	10月	472.04	4.64	290.48
	11月	450.78	4.38	309.01
	12月	481.67	6.97	459.62
	1月	452.14	2.50	330.02
2月	407.64	3.86	338.36	
3月	459.42	4.77	284.22	
平成25年度合計	5,751.09	62.25	4,081.87	

資料提供:本部町今帰仁村清掃施設組合

用途別使用水量の推移

各年度3月末現在(単位:m³)

年度	総量	一般用	営業用	官公署用	学校用	臨時用	船舶用
平成21年度	2,027,396	1,238,699	514,872	232,583	29,900	4,837	6,505
平成22年度	1,977,456	1,217,766	499,211	217,053	33,626	4,475	5,325
平成23年度	1,967,842	1,219,465	500,986	211,198	27,925	3,399	4,869
平成24年度	1,937,326	1,181,858	513,308	203,487	26,602	7,944	4,127
平成25年度	2,014,249	1,183,843	546,704	223,533	26,787	28,759	4,623

資料提供:公営企業課

要介護認定者数および要介護利用者数の推移

(単位:人)

年度	認定者数								サービス利用者数		
	合計	要支援	介護1	介護2	介護3	介護4	介護5	合計	居宅	施設	
平成22年	752	154	134	138	101	122	103	603	404	199	
平成23年	764	161	126	142	124	125	86	619	422	197	
平成24年	809	201	117	135	137	131	88	638	436	202	
平成25年	814	210	125	109	154	145	71	667	450	217	
平成26年	805	202	131	121	134	146	71	671	454	217	

※認定者数は各年4月1日現在、利用者数は月平均の数値である。

資料:福祉課

生活保護世帯の状況

(単位:世帯・人)

年度	被保護者		生活扶助		住宅扶助		教育扶助		医療扶助		介護扶助		停止中	
	世帯	人員	世帯	人員	世帯	人員	世帯	人員	世帯	人員	世帯	人員	世帯	人員
平成21年度	224	316	192	278	114	167	19	35	200	257	34	35	-	-
平成22年度	240	343	205	298	122	180	18	33	213	288	39	40	-	-
平成23年度	246	323	209	283	127	182	17	31	174	201	31	32	-	-
平成24年度	244	313	208	277	128	177	12	20	165	188	29	30	-	-
平成25年度	238	302	199	263	124	168	11	18	169	190	30	30	-	-

資料:「沖縄県統計年鑑」、「福祉保健所活動概況」

乳幼児健康診査等の受診状況

(単位:人、%)

年度	乳児健康診査			1歳6ヶ月健康診査			3歳児健康診査		
	対象者数	受診者数	率	対象者数	受診者数	率	対象者数	受診者数	率
平成22年	253	220	87.0	128	113	88.3	104	92	88.5
平成23年	265	224	84.5	129	120	93.0	135	122	90.4
平成24年	257	223	86.8	136	120	88.2	121	103	85.1
平成25年	266	226	85.0	129	120	93.0	135	120	88.9
平成26年	251	225	89.6	144	126	87.5	137	125	91.2

資料:保険予防課

各種検(健)診受診状況

(単位:人、%)

年度	特定健診		長寿健診		胃がん検診		肺がん検診		大腸がん検診		子宮がん検診		乳がん検診	
	受診数	受診率	受診数	受診率	受診数	受診率	受診数	受診率	受診数	受診率	受診数	受診率	受診数	受診率
平成21年	900	29.0	485	23.1	595	11.8	1,583	31.4	782	15.5	485	14.3	290	10.5
平成22年	1,007	32.8	591	28.8	547	11.1	1,522	30.8	765	15.5	426	13.7	271	10.2
平成23年	1,118	35.8	651	32.1	374	7.6	1,488	30.2	796	16.1	386	12.4	219	8.2
平成24年	1,185	38.9	712	35.1	415	8.4	1,489	30.2	874	17.7	336	10.8	247	9.3
平成25年	1,239	40.7	738	37.9	368	7.5	1,518	30.8	848	17.2	343	11.0	263	9.6

資料:保険予防課

※がん検診については「国立がん研究センターがん情報サービス」を参考

老人医療費の推移

年度	受給者数(人)	医療費(千円)	
		総額	一人当り
平成21年	2,056	2,099,521	1,021.20
平成22年	2,031	2,082,588	1,025.40
平成23年	2,030	2,207,690	1,087.50
平成24年	2,051	2,245,605	1,138.40
平成25年	1,999	2,166,670	1,200.70

資料:保険予防課

用途別火災原因件数

用途 原因	平成24年					平成25年					平成26年				
	計	建物	車両	林野	その他	計	建物	車両	林野	その他	計	建物	車両	林野	その他
計	3	0	0	0	3	2	0	1	0	2	6	3	2	0	1
火入れの火の粉	1	0	0	0	1	1	0	0	0	1	1	0	0	0	1
たばこ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
マッチ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ガス器具	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
火遊び	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ポイラー	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
交通機関内配線	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ライター	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
放火	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
電気スパーク	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0
その他	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	2	1	1	0	0
不明	1	0	0	0	1	1	0	1	0	0	2	1	1	0	0

資料提供：本部町今帰仁村消防組合

用途・月別火災発生状況

用途 月別	平成24年					平成25年					平成26年				
	計	一般住宅	車両	林野	その他	計	一般住宅	車両	林野	その他	計	一般住宅	車両	林野	その他
計	3	0	0	0	3	2	0	1	0	1	6	3	2	0	1
1月	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	1	1	0	0	0
2月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0
3月	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
4月	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0
5月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6月	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0
7月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
8月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0
9月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
10月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0
11月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1
12月	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

資料提供：本部町今帰仁村消防組合

年間交通事故発生状況の推移

年	発生件数								死傷者数							
	死亡		重傷		軽傷		合計		死亡		重傷		軽傷			
	管内	本部町	管内	本部町	管内	本部町	管内	本部町	管内	本部町	管内	本部町	管内	本部町		
平成22年	2	0	6	4	33	26	41	30	2	0	7	4	43	36		
平成23年	1	0	11	3	37	26	49	29	1	0	13	4	72	55		
平成24年	0	0	11	7	36	28	47	35	0	0	14	7	60	45		
平成25年	0	0	11	6	38	23	49	29	0	0	13	8	75	45		
平成26年	0	0	6	5	34	22	40	27	0	0	7	5	62	45		

資料提供：本部警察署

本部町今帰仁村消防本部・署・所の所在地

名称	所在地
本部町今帰仁村消防組合消防本部	沖縄県国頭郡本部町字大浜850番地3
消防署	〃
今帰仁村分遣所	沖縄県国頭郡今帰仁村字謝名608-1番地

資料提供：本部町今帰仁村消防組合

消防庁舎の現況

署(所)別	敷地面積	構造	建築面積	延べ面積	備考
本部(署)	3,303㎡	鉄筋コンクリート	1,057.46㎡	996.18㎡	平成22年11月26日新築
分遣所	5,823㎡	〃	1,064.94㎡	1,164.9㎡	平成26年3月12日新築 ※面積は訓練棟を含む
合計(分遣所)	5,823㎡		1,064.94㎡	1,164.9㎡	

資料提供：本部町今帰仁村消防組合

消火栓設置状況(口径65mm以上)

平成27年現在

字名	消火栓	字名	消火栓	字名	消火栓
瀬底	8	伊豆味	23	謝花	4
崎本部	10	並里	3	北里	3
健壁	9	伊野波	6	嘉津宇	2
辺名地	2	山里	3	具志堅	4
大浜	24	野原	5	新里	5
谷茶	11	浜元	4	備瀬	8
渡久地	14	浦崎	6	石川	11
東	11	古島	3	山川	11
大嘉陽	2	大堂	2	豊原	2
計			196		

資料提供：本部町今帰仁村消防組合

消防施設の状況

年	計	普通自動車	ポンプ自動車	消防自動車	24時間待機消防自動車	救急自動車	指令車	オートバイ	工作車	広報車	ジェットスキー	救助艇	その他	可搬動力ポンプ付き自動車
平成2	14	1	5	1	3	1	2	1		0	0			
平成5	16	0	4	1	2	1	2	1	2	0	0	3		
平成11	14	0	4	0	2	1	0	1	1	0	0	4	1	
平成15	14	0	4	0	2	1	0	1	1	0	0	4	1	
平成18	16	0	2	0	2	1	0	1	1	2	1	5	1	
平成22	16	0	2	0	2	1	0	1	1	2	1	5	1	
平成27	18	1	3		2	0	0		1			8	2	

資料提供：本部町今帰仁村消防組合

年次別救急搬送人員

単位：人

年	水難	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	急行	交通事故	その他	合計
平成20年	5	8	7	110	9	9	448	32	144
平成21年	6	2	3	104	7	10	523	47	148
平成22年	6	3	5	132	4	8	517	29	164
平成23年	6	3	7	102	6	11	533	55	141
平成24年	4	3	3	119	6	8	531	34	145
平成25年	1	5	7	144	3	5	525	45	110
平成26年	3	3	3	169	1	5	555	30	109

資料提供：本部町今帰仁村消防組合

種類別火災件数及び被害総額

単位：件、千円

年	総数	建物	林野	車両	その他	損害額
平成23年	5	0	0	1	4	370,000
平成24年	2	1	0	0	1	399,000
平成25年	2	0	0	1	1	120,000
平成26年	6	3	0	2	1	3,632,539

資料提供：本部町今帰仁村消防組合

市外局番(0980)

●役場

本部町役場(代)	東5	47-2101
公営企業課(下水道)	東5	47-3042
公営企業課(下水道浄化センター)	谷茶438	47-3537
港湾管理事務所	崎本部5235	47-4200
農業委員会事務局	東5	47-2412
議会事務局	〃	47-2651
選挙管理委員会	〃	47-2358

●町の施設

教育委員会事務局	東5	47-2206
本部町立図書館	大浜874-1	47-2105
本部町立博物館	〃	47-5217
学校給食センター	山川716	48-2213
社会福祉協議会	大浜881-4	47-6655
ことばの教室	〃	47-6655
本部幼稚園	東654-1	47-3156
上本部幼稚園	北里1289	48-4755
上本部小学校	北里1317	48-2212
本部小学校	東605	47-2202
崎本部小学校	崎本部127	47-2201
瀬底小学校	瀬底693	47-2208
水納小中学校	瀬底6260	47-4848
伊豆味小中学校	伊豆味13	47-2207
上本部中学校	北里573	48-2211
本部中学校	渡久地231-1	47-2203
本部町会館(町営ホール)	渡久地4	47-4442
葬斎場	渡久地922	
町民体育館	浦崎467-1	48-4300
運動公園	浜元598	
八重岳桜の森公園	並里921	47-6688
環境美化センター	北里182	48-3171
本部町・今帰仁村消防署	大浜850-3	47-7119

●県の施設

本部高等学校	渡久地377	47-2418
本部警察署	大浜850-1	47-4110
沖縄県栽培漁業センター	大浜853-1	47-5411

●国の施設

琉球大学熱帯生物研究センター	瀬底3422	47-2888
国営沖縄記念公園事務所	石川424	48-3140
国土交通省八重岳航空路監視レーダー局	大嘉陽976	

●郵便局

本部郵便局	渡久地93	47-2302
上本部郵便局	謝花320	48-2317

●その他

商工会(アジマー内)	大浜881-1	47-2749
(一社)本部町観光協会(アジマー内)	〃	47-3641
本部漁業協同組合	谷茶28	47-2500
J Aおきなわ本部支店	大浜876-2	47-2501
特別養護老人ホーム本部園	谷茶205	47-3644
社会福祉法人本部海陽園	谷茶268	48-2622
在宅支援センターゆいとび工房	謝花247	48-4511
(一財)沖縄美ら島財団	石川424	48-2741
本部港旅客待合所(水納島)	谷茶29	47-5179
伊江村船舶課本部連絡所	崎本部5232	47-3940
八洲学園国際高等学校	備瀬1249	51-7711
みかんの里総合案内所	伊豆味2846-3	47-2889
ハーソー公園	具志堅1334	48-3835

●保育所

渡久地保育所	渡久地231	47-2106
ゆい保育園	大浜865-1	47-3756
ドリーム保育園	伊野波438-1	47-3602
美ら咲保育園	東151-2	47-3757
風のわ保育園	浦崎740	48-3170
ひかり保育学園	浦崎233	48-2130
ベビーハウス遊	大浜16-2	47-4138
こすもキッズ保育園	伊野波278-5 仲田アパートA棟 202・206・205号	47-6411

●医療機関

本部医院	渡久地231	47-2216
もとぶ記念病院	石川972	51-7007
もとぶ野毛病院	大浜880-1	47-3001
金城歯科医院	渡久地142-1	47-2648
本部カムカム歯科	大浜858-8	47-5432
本部マリン歯科	渡久地799-1	47-6363
らいおん歯科	渡久地231	47-7855

●金融機関

沖縄海邦銀行	渡久地152	47-2605
沖縄銀行	渡久地1-4	47-2929
琉球銀行	渡久地4	47-2600

各種選挙別投票状況

執行年月日	種別	定数	立候補の有無	当日有権者数			投票者数			投票率			
				男	女	総数	男	女	総数	男	女	総数	
平成21年3月8日	本部町議会議員選挙	14	17	有	5,610	5,606	11,216	4,482	4,522	9,004	79.89%	80.66%	80.28%
平成21年8月30日	衆議院議員総選挙(小選挙区)	1	5	有	5,706	5,725	11,431	3,551	3,525	7,076	62.23%	61.57%	61.90%
〃	衆議院議員総選挙(九州ブロック比例代表在外含む)	21	99	有	5,706	5,725	11,431	3,548	3,526	7,074	62.18%	61.59%	61.88%
〃	衆議院議員総選挙(国民審査)	—	—	有	5,649	5,649	11,298	770	634	1,404	13.63%	11.22%	12.43%
平成22年7月11日	参議院議員通常選挙(選挙区)	48	186	有	5,716	5,720	11,436	2,649	2,709	5,358	46.34%	47.36%	46.85%
〃	参議院議員通常選挙(比例代表在外含む)	1	4	有	5,716	5,720	11,436	2,638	2,698	5,336	46.15%	47.17%	46.66%
平成22年9月5日	本部町長選挙	1	1	無	5,617	5,561	11,178	—	—	—	—	—	—
平成22年11月28日	沖縄県知事選挙	1	3	有	5,648	5,594	11,242	3,235	3,290	6,525	57.28%	58.81%	58.04%
平成23年9月11日	本部町農業委員会委員選挙	7	7	無	861	575	1,436	—	—	—	—	—	—
平成24年6月10日	沖縄県議会議員選挙	1	4	有	5,632	5,572	11,204	3,885	3,870	7,755	68.98%	69.45%	69.22%
平成24年8月2日	海区漁業調整委員会委員選挙(沖縄県全区)	9	9	無	115	4	119	—	—	—	—	—	—
平成24年12月16日	衆議院議員総選挙(小選挙区)	1	6	有	5,695	5,660	11,355	2,944	2,929	5,873	51.69%	51.75%	51.72%
〃	衆議院議員総選挙(九州ブロック比例代表在外含む)	21	124	有	5,695	5,660	11,355	2,910	2,887	5,797	51.10%	51.01%	51.05%
平成25年3月3日	本部町議会議員選挙	14	16	有	5,581	5,546	11,127	3,940	3,939	7,879	70.60%	71.02%	70.81%
平成25年7月21日	参議院議員通常選挙(選挙区)	1	4	有	5,687	5,635	11,322	2,724	2,681	5,405	47.90%	47.58%	47.74%
〃	参議院議員通常選挙(比例代表在外含む)	48	162	有	5,687	5,635	11,322	2,709	2,659	5,368	47.63%	47.19%	47.41%
平成26年9月7日	本部町農業委員会委員選挙	7	7	無	693	435	1,128	—	—	—	—	—	—
平成26年9月7日	本部町長選挙	1	1	無	5,635	5,504	11,139	—	—	—	—	—	—
平成26年11月16日	沖縄県知事選挙	1	4	有	5,583	5,475	11,058	3,544	3,526	7,070	63.48%	64.40%	63.94%
平成26年12月14日	衆議院議員総選挙(小選挙区)	1	2	有	5,642	5,560	11,202	2,811	2,710	5,521	49.82%	48.74%	49.29%
〃	衆議院議員総選挙(九州ブロック比例代表在外含む)	21	86	有	5,642	5,560	11,202	2,790	2,692	5,482	49.45%	48.42%	48.94%
〃	衆議院議員総選挙(国民審査)	—	—	有	5,595	5,485	11,080	422	294	716	7.54%	5.36%	6.46%

資料：本部町選挙管理委員会

行政区長名簿

平成27年1月31日現在

行政区名	区長名	書記名	事務所TEL・FAX	区事務所住所
瀬底	大城 昇源	宮城 和江	47-3741	〒905-0227 瀬底69-1
崎本部	安田 淳市	山城 ひとみ	47-2310	〒905-0225 崎本部15
健堅	平良 敏章	赤嶺 房子	47-4197	〒905-0226 健堅1061-1
大浜	照屋 司	森 洋子	47-4540	〒905-0212 大浜867-1
谷茶辺名地	渡久地 政弘	仲榮真 尚子	47-2108	〒905-0213 谷茶445-13
渡久地	中曾根 義人	大城 理子	47-3036	〒905-0214 渡久地123
大東山	根路銘 国貞	岸本 清美	47-2301	〒905-0211 東430-1
伊豆味	伊良波 幸秀	久志 郁子	TEL47-2300・FAX47-5879	〒905-0221 伊豆味95
伊並	内間 幸次	伊：仲宗根 真貴 並：親川 ひろみ	47-3423	〒905-0228 伊野波487
浜元地区	金城 一史	末吉 みさえ	48-2305	〒905-0216 浜元121
謝花	安里 一雄	平良 みどり	48-2511	〒905-0203 謝花124
具志堅	金城 均	大村 清美	48-2311	〒905-0201 具志堅158
新里	與那嶺 明	無	48-2312	〒905-0208 新里593
備瀬	高良 善久	無	48-2371	〒905-0207 備瀬457
豊川	本山 雅治	喜納 律子	48-2351	〒905-0205 山川716-1

※伊豆味行政区以外は、電話 FAX 兼用

本部町の歴史

本部町内には、20数ヶ所の遺跡が確認されています。これらは、海岸沿いのほとんどの字に分布しており、浜元サチピン貝塚、山川港原遺跡など、県の史跡に指定された遺跡も多くあります。これらの遺跡の時代は、琉球石灰岩の崖下の洞穴や岩陰を生活の場とし、漁労中心の採集生活を行っていたと推察できます。山川垣内権現洞穴遺跡などグスタク時代の遺跡では、須恵器壺などが出土しており、時代像を明らかにする上で貴重な発掘となりました。

三山時代は15世紀初頭まで続きましたが、1416年に北山王・攀安知は滅び、中山の尚巴志によって琉球王朝の基礎が造られました。

1666年に伊野波間切が新設されるまで、本部半島の大半は今帰仁間切に属し、その翌年には伊野波間切は本部間切に改称されました。

本部地域の王府時代の村は合併を繰り返して、明治41年に本部村、昭和15年に町制が施行され本部町が成立しました。

沖繩戦では、町全域が戦場となり、壊滅的な打撃を被りました。米軍の占領後、町民は大浦崎へ移動させられ苦難の時を過ごしましたが、戦後は農漁業組合の設置などを契機に急速な復興を遂げました。

1975年には沖繩国際海洋博覧会会場になり、国内外からの観客で活況を呈するようになりました。

本部町のあゆみ

年	月日	事項	年	月日	事項
1666年寛文6年		尚質王19年に今帰仁間切から伊野波間切が分割され、後に本部間切と称した	1932年昭和7年		渡久地港が浚渫され、谷茶海岸約1万坪の埋立が竣工
1874年明治7年	3月20日	本部郵便局開局	1933年昭和8年	8月11日	謝花郵便局開設
1882年明治15年	3月10日	本部小学校開校	1936年昭和11年	8月	本部郵便局で通話(電話)事務開始
1887年明治20年		本部小学校具志堅分校開校	1937年昭和12年	4月1日	水納小学校開校
1888年明治21年	4月14日	名護分署区域から割いて渡久地分署設置	1940年昭和15年		本部町商業組合設立
1888年明治21年	6月15日	謝花小学校開校	1941年昭和16年	4月1日	町制施行により本部村から本部町に改称される
1890年明治23年	2月11日	瀬底小学校開校	1942年昭和17年	8月	備瀬と謝花の部で字石川、浜元と浦崎の部で字山川、謝花と浦崎の部で字豊原、謝花と具志堅の部で字北里、具志堅から新里が、それぞれ分区する
1895年明治28年	4月8日	伊豆味小学校開校	1944年昭和19年	4月1日	本部町に県下初の海の警防団として水上分団設置
1908年明治41年		町村制施行により、本部間切から本部村に改称	1945年昭和20年	10月10日	米軍の空襲で町の中心部と周辺集落が大被害を受ける(十空襲)
1910年明治43年	4月1日	崎本部小学校開校	4月9日	米軍が本部半島に進攻(4月18日まで本部半島制圧)	
1916年大正5年		初めて国勢調査を実施	4月	米軍の命により町民は今帰仁、羽地方面に移動する	
1920年大正9年		本部村人口 22492人	6月	さらに久志、辺野古に収容され、終戦をこの地で迎える	
1926年大正15年	7月1日	渡久地分署を廃止し、独立の警察署として渡久地警察署となる	6月23日	沖繩戦終結	
1929年昭和4年		渡久地〜今帰仁線が開通			
1931年昭和6年		国会議事堂の建築資材として瀬底島のトラバーチンの採掘が始まる			
1932年昭和7年		本部〜名護間の海岸線道路ができる			

年	月日	事項
1965年昭和40年	10月	国勢調査実施 本部町人口 15068人 上本部村人口 4589人
1966年昭和41年	4月4日	上本部村上水道完成。全家庭へ給水開始
1967年昭和42年	12月15日	町制25周年記念事業として町営会館建設 町章・町歌が制定される
1968年昭和43年	4月1日	本部高等学校開校
1969年昭和44年	3月28日	上本部村配電施設完成 (石川、豊原の部を残して全区点灯)
1970年昭和45年	10月	本部名護間の海岸線道路が舗装される
1971年昭和46年	6月1日	本部町、上本部村にダイヤル電話が開通する
1974年昭和49年	10月4日	台風フロッシー来襲。集中豪雨により満名川氾濫し 東・渡久地一帯が床上浸水。災害救助法適用
1975年昭和50年	10月	国勢調査実施 本部町人口 13660人 上本部村人口 3488人
1977年昭和52年	11月15日	戦後初の国会議員選挙が執行される
1978年昭和53年	4月10日	本部町、上本部村合併促進協議会の初会合開催
1979年昭和54年	6月30日	上本部飛行場全面返還される
1980年昭和55年	9月14日	町議会が海洋博覧会の誘致に関する要請決議を 採択
1981年昭和56年	10月22日	本土政府は1975年に沖縄海洋博覧会を 開催することを決定
1982年昭和57年	10月30日	上本部村解消式典が行なわれる
1983年昭和58年	11月1日	本部町、上本部村が合併
1971年昭和46年	12月3日	琉球大学理工学部付属瀬底臨海実験所開所 (昭和56年4月1日に琉球大学熱帯海洋科学 センターに改称)
1972年昭和47年	2月20日	海洋博推進本部会議で会場を本部半島周辺に決定
1973年昭和48年	5月15日	沖縄県が誕生(祖国復帰)
1974年昭和49年	5月15日	塩川が国指定天然記念物に指定される
1975年昭和50年	1月31日	広報もとぶ第1号発行
1976年昭和51年	3月2日	沖繩国際海洋博覧会会場の起工式が行なわれる
1977年昭和52年	4月27日	第十二管区海上保安渡久地分室開設
1978年昭和53年	8月1日	町立東保育所開所
1979年昭和54年	9月10日	本部町全域を都市計画区域に指定
1980年昭和55年	10月20日	水納島に公衆電話(台架設)
1981年昭和56年	11月20日	谷茶、大浜海岸埋立事業竣工(316567m ²)
1982年昭和57年	12月12日	本部町今帰仁村清掃施設組合設立
1983年昭和58年	1月1日	本部町役場謝花支所廃止
1974年昭和49年	4月1日	本部町今帰仁村消防組合発足
1975年昭和50年	7月1日	町立謝花保育所開所
1976年昭和51年	7月20日	第二回本部海洋祭開催
1977年昭和52年	1月11日	大堂区事務所落成
1978年昭和53年	4月20日	本部大橋開通
1979年昭和54年	6月1日	町立大浜保育所開所
1980年昭和55年	7月9日	本部町今帰仁村消防組合庁舎落成

年	月日	事項
1975年昭和50年	7月12日	本部町今帰仁村清掃施設組合施設竣工
1976年昭和51年	7月14日	渡久地新港竣工
1977年昭和52年	7月17日	(昭和55年4月1日に本部港に改称)
1978年昭和53年	7月18日	アクアポリス竣工接岸式
1979年昭和54年	7月20日	町下水道処理場通水式
1980年昭和55年	7月20日	沖縄国際海洋博覧会開会式。皇太子、夫妻、 三木総理大臣、大浜信泉会長他 関係者多数来町
1981年昭和56年	8月23日	琉球大学臨海実験所落成式
1982年昭和57年	9月11日	第一回本部町畜産共進会開催
1983年昭和58年	10月1日	国勢調査実施 本部町人口 17823人
1975年昭和50年	12月23日	瀬底農協野菜集荷場竣工
1976年昭和51年	1月18日	海洋博覧会閉幕(183日間、約388万人入場)
1977年昭和52年	1月28日	本部高等学校体育館落成
1978年昭和53年	3月19日	謝花幼稚園園舎落成
1979年昭和54年	8月1日	アクアポリス開館式
1980年昭和55年	8月8日	海洋博記念公園開園式
1981年昭和56年	4月1日	中学校統合式典
1982年昭和57年	4月1日	本部中学校、伊野波中学校、浜元中学校、嶮本部 中学校 小学校統合式典
1983年昭和58年	4月1日	本部小学校、伊野波小学校、浜元小学校 (本部小学校、伊野波小学校、浜元小学校) 本部農協と瀬底農協が合併し、新農協発足
1978年昭和53年	5月2日	伊野波公民館落成
1983年昭和58年	5月20日	伊野波公民館落成
1978年昭和53年	10月25日	沖繩県水産試験場栽培漁業センター開所
1978年昭和53年	3月31日	本部町非核都市宣言採択
1979年昭和54年	8月7日	瀬底島海底送水通水式
1980年昭和55年	7月23日	町制施行40周年記念式典。記念事業の中央公民館、 博物館、図書館が完成
1981年昭和56年	4月1日	本部警察署新庁舎完成
1982年昭和57年	4月1日	国道449号に昇格
1983年昭和58年	9月18日	特別養護老人ホーム「本部園」落成
1984年昭和59年	5月1日	町立給食センター業務開始
1985年昭和60年	4月1日	町立葬祭場落慶式及び開眼式
1986年昭和61年	10月1日	国勢調査実施 本部町人口 15307人
1987年昭和62年	3月5日	瀬底(水納島)海底ケーブルにより、水納島に 自動電話を設置
1988年昭和63年	11月10日	瀬底大橋起工式
1989年昭和64年	4月1日	上本部小学校開校
1990年昭和65年	4月1日	(新里)小学校、豊川小学校、謝花小学校統合
1991年昭和66年	4月1日	浜元小学校を本部小学校に統合
1992年昭和67年	4月8日	町立葬祭場落慶式及び開眼式
1993年昭和68年	10月1日	国勢調査実施 本部町人口 15307人
1994年昭和69年	3月5日	瀬底(水納島)海底送水送電竣工
1995年昭和70年	10月1日	町立給食センター業務開始
1996年昭和71年	5月1日	特別養護老人ホーム「本部園」落成
1997年昭和72年	4月1日	町立葬祭場落慶式及び開眼式
1998年昭和73年	10月1日	国勢調査実施 本部町人口 15307人
1999年昭和74年	3月5日	瀬底(水納島)海底送水送電竣工
2000年昭和75年	10月1日	町立給食センター業務開始
2001年昭和76年	5月1日	特別養護老人ホーム「本部園」落成
2002年昭和77年	4月1日	町立葬祭場落慶式及び開眼式
2003年昭和78年	10月1日	国勢調査実施 本部町人口 15307人
2004年昭和79年	3月5日	瀬底(水納島)海底送水送電竣工
2005年昭和80年	10月1日	町立給食センター業務開始
2006年昭和81年	5月1日	特別養護老人ホーム「本部園」落成
2007年昭和82年	4月1日	町立葬祭場落慶式及び開眼式
2008年昭和83年	10月1日	国勢調査実施 本部町人口 15307人
2009年昭和84年	3月5日	瀬底(水納島)海底送水送電竣工
2010年昭和85年	10月1日	町立給食センター業務開始
2011年昭和86年	5月1日	特別養護老人ホーム「本部園」落成
2012年昭和87年	4月1日	町立葬祭場落慶式及び開眼式
2013年昭和88年	10月1日	国勢調査実施 本部町人口 15307人
2014年昭和89年	3月5日	瀬底(水納島)海底送水送電竣工
2015年昭和90年	10月1日	町立給食センター業務開始
2016年昭和91年	5月1日	特別養護老人ホーム「本部園」落成
2017年昭和92年	4月1日	町立葬祭場落慶式及び開眼式
2018年昭和93年	10月1日	国勢調査実施 本部町人口 15307人
2019年昭和94年	3月5日	瀬底(水納島)海底送水送電竣工
2020年昭和95年	10月1日	町立給食センター業務開始
2021年昭和96年	5月1日	特別養護老人ホーム「本部園」落成
2022年昭和97年	4月1日	町立葬祭場落慶式及び開眼式
2023年昭和98年	10月1日	国勢調査実施 本部町人口 15307人
2024年昭和99年	3月5日	瀬底(水納島)海底送水送電竣工
2025年令和7年	10月1日	町立給食センター業務開始

年	月日	事項
1983年昭和58年	11月1日	「沖繩の自然100選」に本部半島のカルスト、水納島、備瀬の福木屋敷林、八重岳が認定される
	11月1日	「沖繩の名木」に浜元公民館のデイゴ、伊豆味御願のハシギとマーチ、瀬底のクワディーサー、伊豆味のナトウリ、具志堅のうもデイーグ、健堅のアコウガが認定される
1984年昭和59年	4月1日	並里・伊野波配水タンク完成
	5月	伊豆味林道完成(古嘉津字)八重岳学園
	10月	北部で初の切り花ラン出荷開始(北里、ラン団地)
1985年昭和60年	2月13日	県内最長の瀬底大橋が開通(全長762m、幅員車道6m、歩道2.5m、総事業費約57億円)
	2月14日	第五瀬底丸退船式
	10月	国勢調査実施 本部町人口 15116人
	12月5日	瀬底集落センター落成
1986年昭和61年	6月15日	瀬底路線バス開通式
1987年昭和62年	2月	町営住宅谷茶団地完成
	3月	上本部幼稚園園舎完成
	4月22日	那覇地方事務局本部出張所新庁舎落成
	5月23日	並里区公民館落成
	7月10日	新造船「フェリーいえしま」就航
	9月20日	エクスボ港にて第42回国民体育大会夏季大会カヌー競技開催
	10月26日	第42回国民体育大会秋季大会レスリング競技開催
1987年昭和62年	10月26日	第42回国民体育大会秋季大会レスリング競技開催
1989年昭和64年 (平成元年)	3月31日	町営住宅伊野波団地完成
	5月11日	P3C対潜水艦作戦センター送信所建設反対町民運動総決起大会(多目的広場)
	8月4日	町道伊野波本線竣工
	11月	第1回ソールド・おきなわ'89開催
	3月	町営住宅伊豆味団地完成
1990年平成2年	3月	大浜地区コミュニティセンター(公民館)完成
	4月1日	本部町今帰仁村消防組合設立
	5月24日	上本部小学校プール開き
	8月28日	第1回世界のウチナンチュ本部町出身者歓迎会(アクアポリス)
1993年平成5年	2月25日	本部中学校コンピュータルーム竣工
	3月25日	渡久地保育所改築落成式
	3月25日	本部町花卉集出荷施設完成(野原)
	3月27日	第1回本部町婦人会芸能の夕べ開催
	4月1日	主要地方道本部循環線(県道124号線)が国道505号に昇格
	5月26日	「ことばの教室」開園(旧謝花診療所を改造)
	8月	北部地区が地方拠点都市地域に指定される
	10月4日	「南米本部町出身子弟研修生受け入れ基金」設立
	10月17日	第20回国頭地区中学校陸上競技大会をはじめ本部町運動公園で開催
	10月30日	アクアポリス営業終了
1994年平成6年	3月30日	水道管理センター竣工
	3月31日	嘉津字、北里の通学路竣工
	9月30日	在沖米軍八重岳通信所用地(148000㎡)の一部(117098㎡)が返還される
1995年平成7年	10月22日	グループホーム開所(知的障害者)
	1月29日	沖繩県高校新人駅伝競走大会が今帰仁本部間ではじめて実施される
	2月10日	本部町議会が全国町村議長会並びに沖繩県町村議長会より表彰される
	2月22日	備瀬構造改善センター(公民館)が完成
	4月1日	学校週5日制が実施される

年	月日	事項
1990年平成2年	10月1日	伊平屋航路が運天港へ移る
	10月1日	国勢調査実施 本部町人口 15043人
	10月9日	本部町町民音頭及び町民憲章を制定
	12月15日	町制施行50周年記念式典挙行
1991年平成3年	2月27日	ふるさとづくり担い手育成事業
	2月28日	「冬の北海道体験の翼」をはじめて実施
	6月	第12回全日本リコーダーコンテスト(千葉県)で崎本部小学校が金賞受賞
	8月2日	本部町重度心身障害者(児)医療費助成開始
	12月15日	町立博物館内町民ギャラリーオープン
	12月15日	町制功労者表彰式(町表彰条例制定後第1回)
1992年平成4年	3月25日	葬祭場の駐車場竣工
	3月26日	町議会が海上自衛隊P3C対潜水艦作戦センター送信所建設予定地内町道廃止議案を賛成多数で可決
	5月23日	伊豆味区構造改善センター(公民館)落成
	6月30日	本部町開館改修工事完了
	7月12日	本部町運動公園の運動場開き
	9月12日	学校週5日制(第2土曜日休校)開始
	11月14日	瀬底公民館落成
	12月13日	多目的広場を主会場に沖繩県中学校駅伝大会が開催される
1993年平成5年	2月12日	第1回美化コンクール開催(観光協会主催)

年	月日	事項
1995年平成7年	4月15日	「新おきなわ観光名所100選」に八重岳と備瀬のフクギ並木が認定される
	4月24日	本部町福祉小規模作業所「ゆいとぴあ工房」開所
	4月30日	伊豆味小学校創立100周年
	5月25日	在宅介護支援センター開設(本部記念病院)
	6月1日	水道管理センター運用開始
	6月29日	新里漁港開港
	7月16日	全国シーカヤック大会'95がエメラルドビーチで開催される
	9月28日	南米子弟研修生受け入れ第号の玉城ミリイ(ペルー)が名桜大学で4年間学ぶ
	10月	町営住宅新里団地完成
	11月21日	世界のモトブンチュ大会開催
1996年平成8年	7月19日	本部町と北海道南富良野町で友好の町盟約調印
	8月12日	台風12号襲来し、本部港被害甚大
	8月17日	旧上本部飛行場跡地利用促進町民大会開催
1997年平成9年	4月26日	瀬底体育館落成
	6月22日	浦崎区公民館落成
	7月20日	高速船「マリン」就航 (那覇泊港→エキスポ港→伊江港)
	8月5日	本部中学校野球部が県大会に続き九州中学校野球大会で優勝
1997年平成9年	8月5日	野球大会で優勝
1998年平成10年	4月20日	水納丸待合所開所
	5月9日	水納小中学校特別教室完成
	5月28日	「日本の水浴場55選」にエメラルドビーチが認定される
	6月1日	2代目環境美化センター完成
	7月1日	B&G「マリンピアザオキナワ」が新装オープン
	7月25日	本部闘牛大会が海洋まつりのイベントとして20年ぶりに復活
	12月	町営住宅瀬底団地が完成
1999年平成11年	3月29日	地域振興券が交付される
	4月11日	浜元区公民館落成
	4月16日	県庁にてアセロラの日設定発表
	4月25日	東区公民館落成
	5月16日	谷茶区公民館落成
1997年平成9年	8月5日	野球大会で優勝
1999年平成11年	5月23日	古島集落センター(公民館)落成
	8月27日	県内初の福祉工場(住マイル工場)が完成
	10月17日	本部高校野球部が県野球秋季大会にて初優勝
	10月12日	瀬底島沖合で500kg不発弾(2個)が発見され、水中爆破処理される
2000年平成12年	2月13日	崎本部小学校体育館落成
	3月28日	八重岳線道路改築事業完了(沖繩特別振興対策)
	3月31日	エキスポランド閉鎖
	3月31日	高速船「マリン」運航廃止
	4月1日	介護保険制度開始
	4月30日	新里コミュニケーションセンター(公民館)落成
	6月27日	第10回南富良野町体験の翼行が来町
	7月24日	伊豆味小中学校グラウンド周辺せせらぎ落成
	7月28日	八洲学園オープニングセレモニー
	10月23日	アクアポリス本部から上海へ(曳航後解体)
	11月3日	おはなレフェスタinもとぶ開催 町民参加による民話劇「健堅比屋」上演
	11月19日	第24回沖繩県中学校駅伝競走大会で本部中学校が全県制覇
	12月10日	町制施行60周年記念式典開催
	2月26日	嘉津宇コミュニケーションセンターが落成
2001年平成13年	5月	本部町行政改革検討委員会が発足

年	月日	事項
2001年平成13年	7月7日	第1回新里の朝市が開催される
	10月28日	本部町多目的イベント広場(闘牛場)落成
	11月3日	世界のウチナンチュ大会にあわせ、第3回世界のムトブンチュ大会を開催
	3月10日	本部小学校が創立120周年を迎える
2002年平成14年	3月	上本部中学校が第42回沖繩県春季中学校軟式野球大会で全県制覇
	4月1日	町営住宅健堅団地(12戸)入居開始
	4月2日	B&G財団の沖繩海洋センター「マリンピアザオキナワ」が町へ無償譲渡される
	4月23日	本部港旅客待合所が落成。記念式典が行なわれる
	5月2日	伊豆味みかんの里総合案内所が落成。同日、伊豆味区で「第1回伊豆味あじさいまつり」が開催される
	6月	市町村合併に関する町民アンケートがはじめて行なわれる
	6月22日	並里区内に「うつぶあらし橋」が完成
	8月22日	上本部中学校が第19回全日本少年軟式野球大会で全県制覇
	11月1日	海洋博公園内に世界最大級の水族館 「沖繩美ら海水族館」がオープン
	12月3日	伊豆味区が平成14年度農村アメンティコンクールで農村振興局長を受賞
	12月22日	本部町民体育館が完成
2003年平成15年	4月1日	伊豆味区が「沖繩・ふるさと100選」のひとつとして認定される
	12月	行政改革検討委員会が答申

本部町の豆知識

位置		本部町は、沖縄本島北部の東経 127度54分、北緯 26度39分に位置し、総面積 54.33km ² で瀬底島 (2.99km ²) と水納島 (0.47km ²) の離島を有します。	
人口	人口	13,638人(平成27年2月28日現在)	
	世帯数	6,145世帯(平成27年2月28日現在)	
気候	平均気温	23.6℃(平成22年～平成26年5年間の平均気温)	
	年間降雨量	2,471.0mm(平成22年～平成26年5年間の平均雨量)	
町のテーマ		太陽と海と緑ー観光文化のまち	
町の花木等	花	ラン	
	花木	さくら	
	木	フクギ	
	魚	カツオ	
	鳥	リュウキュウコノハズク	
	蝶	コノハチョウ・フタオチョウ	
国指定記念物	天然記念物	塩川	塩川は本部町崎本部にある塩分を含んだ水が流れる川で、海と川の生きものが共生しており、世界的にも珍しい川です。
	建造物	土帝君	瀬底島にある土帝君は、1712年に清(中国)より農神土帝君の木像をもってきて祀ったもので、旧暦の2月2日に島の人々が祭礼を行います。
沖縄海岸国定公園		本部半島カルスト地域	
山(標高)	八重岳	453m	
	本部富士	250m	
川(延長)	満名川	4,000m	
橋梁	瀬底大橋	762m	昭和60年2月 開通
	本部大橋	352m	昭和50年4月 開通
港	港湾	7ヶ所	
	漁港	2ヶ所	
役場所在地		〒905-0292 沖縄県国頭郡本部町字東5番地 TEL.0980-47-2101 ホームページアドレス http://www.town.motobu.okinawa.jp/	

年	月日	事項
2013年 平成25年	2月	本部町を主会場に第23回全国権サミット開催
	2月12日	上本部飛行場跡地に係る国有地の売買契約調印
	4月7日	比嘉真美子がヤマハレディースオーブン葛城で優勝
	5月4日	第1回ももぶつオのぼりまつり
	5月11日	第1回カルスト山ゆりまつり
	6月2日	比嘉真美子がリゾートトラストレディースで優勝
	6月20日	第1回キンキン(健堅)ゴーヤースープ
	6月21日	一般社団法人本部町観光協会設立総会
	8月1日	江藤幸喜がWBA世界フライ級暫定王者に
	8月18日	第1回やんばるエイサーまつり
	10月19日	ももぶつあらい交流館がオープン
	10月26日	第1回ももぶつ観光文化フェスタ
	11月10日	本部小学校創立130周年記念式典
	11月15日	農業生産法人(株)ももぶつ牧場が 第42回全畜連肉用牛枝肉共進会・第2部黒毛和種 去勢牛の部で農林水産大臣賞を受賞
2014年 平成26年	1月12日	第1回本部町ジュニアマラソン大会
	2月8日	本部町教育委員会と本部警察署が子どもを 事件・事故から守る学校ゆいまーる活動制度協定締結
	2月23日	第1回こももぶつ会議
	3月6日	ももぶつ香ネギ定植式

年	月日	事項
2014年 平成26年	4月26日	崎本部区公民館落成
	4月27日	本部小学校新校舎落成
	6月17日	江藤幸喜がOPBF東洋太平洋フライ級 王座決定戦で王座を獲得
	8月1日	ももぶつ夏休み地域学習教室が始まる
	10月24日	伊豆味駐在所落成
	10月28日	本部町役場新庁舎が完成
	12月5日	本部漁業協同組合観光部会設立総会
	1月5日	本部町役場新庁舎での業務が始まる
	1月17日	沖縄本部美らまち観光大使に谷川真理
	2月9日	「フクギの里宣言」を発表
2015年 平成27年		

